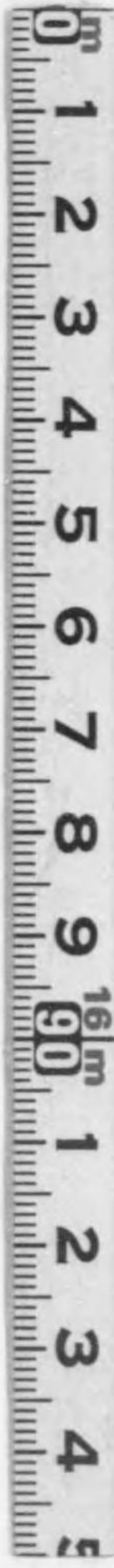


319  
408



始





小哨長ノ參考

全



319-408



# 小哨長ノ參考

## 目次

第一節 任務受領後出發迄ノ動作……………

其 一 項目……………

其 二 任務達成ノ爲圖上ノ研究……………  
(此ノ研究ニ於テ決定スヘキ事項——決定ニ方リ願慮スヘキ要件——小哨ノ位置決定ノ着眼——歩哨ノ位置、數、兵力及種類決定ノ着眼——歩哨配置間ノ警戒法——斥候使用上ノ着眼——地形偵察ニ關スル着眼)

其 三 部下ノ區分及點檢……………  
(部下ノ區分ヲナスニ方リ小哨長ノ願慮スヘキ件——軍裝檢査ニ就テ)

其 四 命令ノ下達……………  
(命令ニ含有スヘキ事項——下達ノ要領)

其 五 地形偵察ノ爲小哨長ノ同伴スヘキ傳令及其他ノ要員ニ就テ……………一八

其 六 要スレハ或ハ成シ得レハ實施スヘキ諸件ニ就テ……………二〇  
(中隊長ト時計ノ適合ニ就テ——暇備ノ度及給養法ヲ承知スルコトニ就テ——隣接小哨ト歩哨配置及連

目次

大正  
8. 5. 1-2  
内交



目次

緒等ニ關スル協定ニ就テ——報告及點材料ハ準備ニ就テ——抗戰準備ノ爲ニス工事及諸設備ニ要スル材料ノ準備——飲用水ノ補充ニ就テ——彈藥ノ補充ニ就テ——飯盒ノ殘置ニ就テ——曹長ニ小哨ノ人員ヲ通報スルコトニ就テニ就テ中隊ノ兵卒一二名ヲ小哨ノ位置迄同行スルコトニ就テ

其七

結論.....二七

第二節

出發後步哨配置着手迄ノ處置動作.....二八

其一

一般ノ場合.....二八

一

項目.....二八

二

出發後任地到着迄ノ處置動作.....二八  
(—小哨長ノ先行要領——先行シツ、偵察スヘキ着眼——古參分隊長ノ引率法)

三

任地到着後ノ處置動作.....三〇  
(—小哨ノ位置ノ決定困難ナル場合ノ處置——一時部下ヲ停止セシムヘキ地點ニ具備スヘキ要件——小哨ノ位地決定後ノ處置——步哨ノ位置決定ノ爲地横偵察ノ程度——古參分隊長ノ處置)

其二

特別ノ場合.....三一  
(—小哨長ノ先行ヲ不可トスル場合及理由——此ノ場合任地到着後ノ處置動作上注意スヘキ件)

第三節

步哨ノ配置法.....三三

其一

步哨配置法ノ種類比較及應用スヘキ場合.....三三

其二

光線方法ニ依ル法.....三五

一

項目.....三五

二

步哨配置ニ關スル命令ニ就テ.....三五  
(—此命令ニ含有セシムヘキ事項——其一例——步哨ノ種類番號ニ就テ——步哨ニ服務スル兵卒ノ選抜ニ就テ——命令ノ下達法ニ就テ——命令下達間ノ直接警戒ニ就テ)

三

小哨ニ殘留スルモノニ與フル任務ニ就テ.....四〇  
(小哨長代理ニ就テ——小哨ノ位置附近ノ地形偵察ニ就テ——銃前哨ノ設置ニ就テ——諸材料ノ偵察ニ就テ——諸場地ノ偵察ニ就テ——器具ノ卸下ニ就テ——要圖調製ヲ令スルコトニ就テ——注意及結論)

四

特別守則授與ノ際同伴スヘキ傳令其他ニ就テ.....四五

五

特別守則ニ就テ.....四五  
(—步哨ノ番號ニ就テ——敵情並前方ニ在ル我部隊及斥候ノ情況ニ就テ——特別守則ト傳告事項トニ就テ——特ニ監視スヘキ區域ニ就テ——必要ナル道路村落等ノ名稱ニ就テ——隣步哨トノ連絡ニ就テ——小哨並中隊ノ位置及此各位置ニ通スル捷路ニ就テ)

六

特別守則ノ授與法ニ就テ.....五六  
(—特別守則ノ授與法——步哨ノ位置姿勢ニ就テ——特別守則內容事項ノ排列順序ニ就テ——地區地物ノ名稱ノ指示ニ就テ——特別ノ設備等所要ノ指示ニ就テ——特別守則授與間ノ注意)

七

特別守則授與ノ爲步哨線ノ巡回順序及巡回中ノ動作ニ就テ.....五九

其三

導線法ニ依ル法.....六〇



目次

一 項目.....六〇

二 步哨配置ノ爲出發前ノ處置動作.....六一

三 步哨配置法.....六一  
(一) 步哨配置ノ順序——特別守則授與ニ際シ注意スヘキ事項——其ノ他ノ注意)

其四 導線法ニ光線法ヲ併用スル一例.....六二

第四節 步哨配置後ノ處置動作.....六四

其一 項目.....六四

其二 小哨長小哨ノ位置ニ歸還直後ノ處置動作.....六五  
(一) 銃前哨ニ守則ノ授與——中隊長ニ步哨配置完了ノ口答報告——小哨ニ殘留セシモノヨリ諸報告ノ聽取)

其三 各勤務員ノ區分及又銃ニ就テ.....六七  
(勤務員ノ種類——小哨ノ人員ト小哨長ノ覺悟——斥候ノ區分ニ關スル着眼——巡察ノ區分ニ關スル着眼——傳令ノ區分ニ關スル着眼——步哨ノ交代兵ニ就テ——其他ニ就テ——又銃ノ時機——又銃一般ノ要領——銃架ニ就テ——又銃ト銃架トノ併用ニ就テ——又銃シ若シクハ銃架ヲ利用スルヤ否ヤニ就テ)

其四 斥候ノ派遣ニ就テ.....七六

其五 小哨ノ工事ニ就テ.....七六  
(一) 工事ノ必要——偵察ノ要領——工事ノ種類——敵ノ近接ヲ察知スル爲ノ設備——敵ノ近接ヲ妨碍スル爲ノ設備——我火力ヲ發揚スル爲メ設備——交通及通信ニ關スル設備——工事ノ實施要領)

其六 要圖ヲ以テスル報告及連絡.....八四  
(一) 報告調製ノ時機——比隣小哨トノ連絡ニ就テ——報告ノ通信文ニ記載スヘキ事項——要圖ニ現ハシ及註記スヘキ件——記載上ノ注意)

其七 小哨長ノ地形偵察ニ就テ.....八八  
(一) 偵察ノ目的及着眼——偵察ノ爲出發スル際注ノ意)

其八 中隊長臨場ノ場合ノ處置.....八八  
(一) 中隊長臨場ノ時機——小哨長ノ報告スヘキ事項——中隊長ヨリ受クヘキ指示——中隊長小哨内ヲ巡視スル時ノ處置)

其九 休憩法ニ就テ.....九一  
(一) 休憩法規定上ノ着眼——小哨休憩ノ主義——休憩法ノ一例——休憩法定ニ際シ顧慮スヘキ事項——假眼炭火ノ使用等ヲ許サレタル場合ノ處置——其他ノ注意)

其十 敵襲ニ際スル行動ノ豫習.....九四  
(一) 豫習ノ時機——豫習ノ要領及着眼)

第五節 小哨ノ警戒配備完了後ニ於ケル處置動作.....九六

其一 項目.....九六

其二 小哨長ノ行動ニ就テ.....九七

其三 步哨交代ノ指導ニ就テ.....九九

目次



目次

(一) 歩哨ノ交代ニ關シ小哨長ノ規定スヘキ事項——交代ノ時機——交代時間——交代ノ實施法) ..... 一〇一

其四 特別守則ノ修正ニ就テ..... 一〇一

其五 歩哨ノ配置變更ニ就テ..... 一〇二

(一) 變更スヘキ場合——晝間警戒ノ配置ヨリ夜間ノ配置ニ移ル要領——敵ニ我配備ヲ察知セラレタル場合  
——情況ノ變化ニ依リ最ノ配置不適當トナリシ場合) ..... 一〇二

其六 給養ニ關スル所要ノ規定及監督ニ就テ..... 一〇八

(一) 炊爨ヲナス場合及之ニ關スル規定——喫食ニ關スル規定——及實施要領——湯茶ノ補充法) ..... 一〇八

其七 假眠者ノ取り扱ヒ及廁圃ノ指定ニ就テ..... 一一〇

其八 斥候巡察ノ使用及通報報告連絡ノ處置ニ就テ..... 一一一

其九 軍使降參人其他歩哨線通過等ヲ許シ非ラサルモノ、取扱ニ就テ..... 一一四

第六節 敵襲ヲ受ケタル場合ノ處置動作..... 一一六

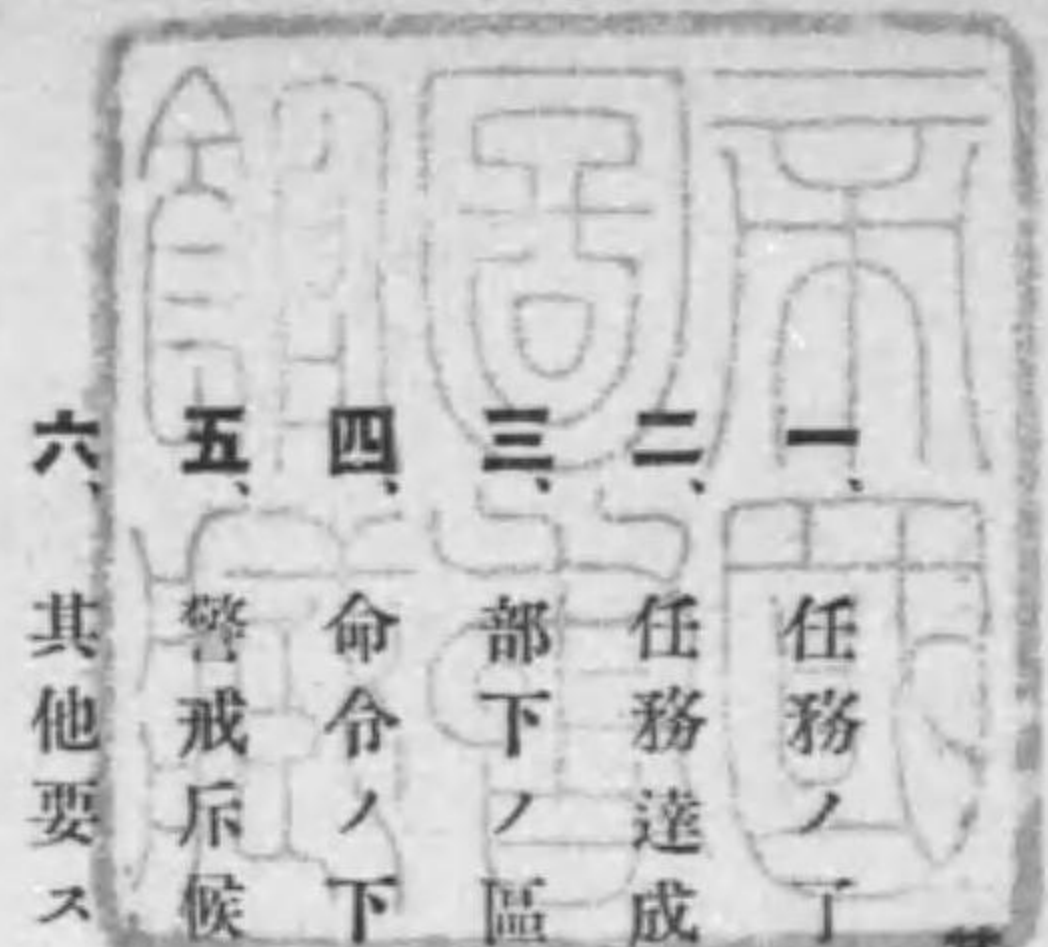
(一) 不意ノ敵襲ヲ豫防スル着眼——自己ノ警戒正面ニ敵襲ヲ受ケタル場合——敵ノ眞面目ノ攻撃ヲ受ケタル場合ノ動作——敵ノ小企圖ニ遭遇シタル場合ノ動作——自己ノ警戒正面外ニ敵襲ヲ受ケタル場合ノ動作——敵襲ヲ擊退セル場合ノ動作) ..... 一一六

小哨長ノ參考目次 (終)

小哨長ノ參考

第一節 任務受領後出發迄ノ處置動作

其一 項目



- 一 任務ノ了解
- 二 任務達成ノ爲圖上ノ研究
- 三 部下ノ區分及點檢
- 四 命令ノ下達
- 五 警戒斥候ノ派遣
- 六 其他要スレハ或ハ成シ得レハ實施スヘキ件概ネ左ノ如シ
- (一) 中隊長ト時計ヲ合ハス
- (二) 戦備ノ度及給養法ヲ承知ス
- (三) 隣接小哨長ト歩哨配置及連絡等ニ關スル必要ノ協議ヲナス
- (四) 報告及點火材料ヲ準備ス

第一節 任務受領後出發迄ノ處置動作



- (五) 抗戰準備ノ爲施ス工事及諸設備ニ要スル材料ヲ準備ス  
 (六) 飲用水ヲ水筒ニ填充セシム  
 (七) 彈藥ヲ補充セシム  
 (八) 飯盒ヲ殘置セシム  
 (九) 曹長ニ部下小哨ノ人員ヲ通報ス  
 (十) 中隊ノ兵卒一二名ヲ小哨ノ位置迄同行ス

其二 任務達成ノ爲圖上ノ研究

小哨長ハ地圖ヲ有スル時ハ任務ノ着手ニ先チ成ルヘク之カ達成ノ手段方法ヲ地圖ニ就キ研究スルヲ要ス  
 而シテ此ノ際先ツ決定スヘキ事項ハ

- 小哨ノ位置  
 歩哨ノ位置數兵力及種類  
 歩哨配置間ノ警戒法

地形偵察ノ手段方法

等ニシテ之等ノ諸件ヲ研究決定スルニ方リ願慮スヘキ要件ハ各項目ニ依リ同シカラサルモ一般ニ

敵情特ニ其遠近及活動ノ状態

地形

警戒正面ノ幅員ト小哨ノ兵力

天候季節特ニ時刻等

ニ着意スルヲ要ス

一、小哨ノ位置決定ニ就テ

- 小哨ノ位置決定ノ爲ノ要件ハ  
 (一) 警備スヘキ道路又ハ要點ノ近傍ナルコト  
 (二) 抗戰ニ適スル地點ノ後方ナルコト  
 (三) 敵眼ニ遮蔽セル地點ナルコト  
 (四) 歩哨ノ交代ニ便ナルコト

第一節 任務受領後出發迄ノ處置動作



之ナリ而シテ尙全般ノ關係位置及前後左右ノ連絡ニ注意シ以テ本來ノ目的タル警戒ヲ完フスルコトヲ期セサルヘカラス

二、步哨ノ位置數兵力及種類ノ決定ニ就テ

步哨ノ位置數兵力及種類決定ノ爲顧慮スヘキ要件ハ陣中要務令第六十五第一百六十六第六十七第七十七及第三百三十七ノ第二項等ニ詳細ニ指示シアリ今其重要ナルモノ若干ヲ擧クレハ左ノ如シ

- (一) 步哨ノ數及兵力ハ成ルヘク之ヲ節約シ而カモ其監視警戒ハ嚴ナルヲ要ス之カ爲步哨ヲ配置スル位置ハ其監視能率ノ發揚最大ナル地點ナルヲ要ス
- (二) 行軍前哨ニ於テ步哨ヲ配置スルニハ必スシモ其線ヲ連續セシムルヲ要セス主トシテ敵方ニ通スル道路並重要ノ地點ヲ警備スヘシ然レトモ過度ニ前後ニ凹凸アルハ宜シカラス戰鬪準備前哨ニ於テハ步哨相互ノ間隔ヲ短縮シ連絡ヲ緊密ナラシムルヲ要ス
- (三) 步哨ノ位置小哨ヨリ過近ナルハ夜暗若クハ蔭蔽地等ニ於テ小哨ノ戰備ヲ特ニ嚴ナラシムルヲ要スルノ不利アリ之レ步哨ノ位置小哨ヨリ遠キモノニ

比シ敵ノ近接ヲ察知スルコト遅ケレハナリ然レトモ小哨ヨリ交代スヘキ步哨ノ小哨ヲ距ル、距離ハ約四百米ヲ越ヘサルヲ可トス

- (四) 下士哨ハ特別ニ重要ナルカ或ハ交代不便ナル地點ニ用フ而シテ下士哨ヲ多ク用フルトキハ步哨線ノ監視能率ヲ向上スルニ便ナルモ小哨ノ兵力ヲ減殺スルコトニ顧慮スルヲ要ス

- (五) 復哨ノ人員ヲ如何ニスヘキヤハ一ニ實際ノ要求ニ從ハサルヘカラス動哨ニ依ル隣步哨トノ連絡及報告等ヲ考フル時ハ將來二人哨ヲ以テ満足シ得ル場合恐ラク稀有ナルヘク少クモ三人哨ヲ必要トスルニ至ラン而シテ四人哨ヲ以テ下士哨ニ代用セントスルカ如キハ其性能ノ相異ヲ明ニセサルモノト云フヘシ

尙吾人カ特ニ婆言ヲ加ヘントスル一事ハ步哨ヲ配置スルニ方リ各步哨ヲシテ其監視警備セシムヘキ主目的ヲ明確ニ決定スルコト之ナリ例ヘハ

甲ノ步哨ハ敵方ニ通スル重要ナル道路ノ警備

乙ノ步哨ハ夜間敵斥候等ノ好テ進路トスヘキ林縁ノ直接警戒ニ任シ晝間ハ



隣哨所前ノ重要ナル隘路(而カモ隣哨所ノ位置ヨリ展望シ得サル)ノ監視等ノ如ク各其主目的ヲ定ムルヲ要ス之後ニ研究スヘキ特別守則ノ基礎トナルヘキモノトス若シ夫レ何等確然タル目的モ任務モ考ヘス漠然軍隊符號ノ圖例ノ如キ配置ヲナシ省ミサル如キハ嚴ニ戒ムヘキコトトス

### 三、步哨配置間ノ警戒法ニ就テ

步哨配置間ノ警戒ニ關シテハ左ノ二方法ニ依リ目的ヲ達シ得ヘシ

步哨線前ニ派遣スル警戒斥候

小哨ノ位置附近ニ設クル直接監視兵

而シテ警戒斥候ノ使用ニ關シテハ左ノ諸件ヲ研究決定スルヲ要ス

- (一) 何レノ地點換言スレハ步哨線ノ前方幾何ノ距離ニ派遣スルヲ適當トスル
- (二) 幾組ヲ派遣スヘキヤ
- (三) 各組ノ兵力ヲ如何ニスヘキヤ
- (四) 任務ハ如何ニ附與スヘキヤ

(五) 招還ノ時期及方法ハ如何ニスヘキヤ等

以下少シク冗長ニ失スルノ嫌アルモ右各項決定上ノ着眼ニ就キ若干ノ研究ヲ試ミントス

(一) 派遣ノ距離ニ就テ

(イ) 敵襲ニ際シ小哨ノ戦備ヲ整フルニ要スル時間ノ餘裕ヲ得ルコトニ着眼スルヲ要ス

之カ爲先ツ

何レノ地點ニ敵カ現出スル迄ニ小哨ハ其戦備ヲ完了スレハ可ナルヤ及小哨ノ戦備完了ニ幾何ノ時間ヲ必要トスルヤ

ヲ判定シ

斥候ノ報告ニ要スル時間(報告ノ手段方法ニヨリ差異アルモ傳令ニ依ルトキハ至急ノ歩度トス)

敵ノ行進速度(通常速歩ノ歩度ト考定スレハ可ナラン)

ヲ顧慮シ

第一節 任務受領後出發迄ノ處置動作



敵カ何レノ地點ニ達セシ際ノ情況ヲ我斥候カ認識セハ可ナルヤ  
 ヲ考定シ以テ斥候派遣ノ距離ヲ算出スルヲ要ス (第一圖參照)  
 小哨ハ敵カBニ現出スル迄ニ戰鬪準備ヲ完了スルヲ要スルノ希望ヲ要  
 ス

前進ニ要スル時間ヲXトス



報告ヲ受ケテヨリ小哨ノ戰鬪準備ニ要スル時間ヲZトス

報告ニ要スル時間ヲYトス

右ノ關係ニ於テ左ノ如クナレハ可ナリ

$$X = Y + Z$$

(ロ) 敵ノ斥候等ニ對シ我警戒配備ヲ掩蔽スルコトニ着眼スルヲ要ス  
 之カ爲敵情特ニ地形ヲ判斷シ天候時刻ヲ顧慮シ適當ノ地點迄斥候ヲ派遣

(二) 組數ニ就テ

スルヲ要ス殊ニ我内部ヲ觀望シ得ルカ如キ地點アルトキハ稍其距離遠大  
 トナルモ之ヲ占領セシムルコト必要ナリ

(ハ) 必要以上ニ遠距離ニ派遣シ部下ヲシテ徒勞セシムルカ如キコトナキヲ  
 要ス

小哨ノ兵力 警戒區域ノ正面幅及特ニ地形ヲ顧慮シ小哨ノ步哨配置間ノ狀  
 態ヲ掩蔽シ得ルコトヲ主眼トシ決定スルヲ要ス

現今動モスレハ主要ナル道路上ニ唯一組ノ停止斥候ヲ派遣シ満足セル小哨  
 長尠ナカラス之即チ形式的ニ警戒法ヲ講セルモノニシテ同意シ難シ勿論斥  
 候ノ使用ヲ適切ニシ勉メテ其組數ヲ減シ之ニ用フル兵力ヲ節約スルノ着意  
 ハ極テ緊要ノコトナリト雖苟クモ之ヲ派遣スル以上ハ十分其目的ヲ達スル  
 ニ必要ナル兵力ヲ使用スルニ躊躇スヘカラス

(三) 兵力ノ決定ニ就テ

兵力ノ決定ニ就テハ綿密周到ナル顧慮ヲ必要トス之カ爲研究スヘキ要件ハ

第一節 任務受領後出發迄ノ處置動作



概ネ左ノ如シ

敵情特ニ其遠近及活動ノ状態

地形特ニ派遣距離

派遣ノ目的

報告ノ難易

小哨ノ兵力

而シテ唯一人ト雖無意味ニ増減セサルコト緊要ナリ概ネ此ノ位ニテ可ナラ  
ント云フカ如キ薄弱ナル考ヘニハ同意シ難シ

(四) 任務ノ附與法ニ就テ

獨リ斥候ニ限ラス任務ノ附與ハ常ニ適切明確ナラサルヘカラス而シテ此ノ  
斥候ニ與フル任務ハ通常左記諸項ニ關シ明細ニ指示セラル、ヲ要ス

行進目標

進路

目的地到着後ノ動作概要

# 欠



# 欠

## 其七 結論

以上任務受領後出發迄ノ處置動作トシテ研究セル處ハ何等ノ情況ヲモ想定セス唯タ漠然ト如何ナル事ヲナスヘキヤニ就キ記述セルモノナリ故ニ實施ニ際シテハ時ノ情況ニ鑑ミ須ラク取捨折衷應用其宜キヲ得ルヲ要ス

而シテ此ノ際ノ重要ナル着眼ハ左ノ二要件ニ歸着ス其他ノ事ノ如キハ其順序前後シ或ハ時ニ若干ノ脱漏アルモ適當ノ時機ニ於テ之ヲ補綴シ得ルモノトス

### 第一 任務ヲ完全ニ了解スルコト

### 第二 成ルヘク速カニ任地ニ就クコト

即チ行軍前哨等ニ在リテハ行軍中任務ヲ受領シ直ニ住地ニ向ヒ分進スル場合多カルヘク此ノ如キ場合ニハ任務ヲ了解スルヤ兎ニ角所要ノ部下ヲ率ヒテ分進シ任地ニ向ヒツ、圖上ノ研究ヲナシ命令ヲ下シ警戒斥候ヲ派遣シ更ニ所要ノ傳令ヲ伴ヒ先行スルカ如クナルヘシ故ニ出發迄ノ動作トハ云ヒナカラ形ハ出發後ニ於テ之ヲナスコト、ナルヘシ要ハ右二要件ヲ根本トシ本節ニ述ヘタル細部ノ處



置ヲ適宜情況ニ適應セシムルニ在リ

## 第二節 出發後步哨配置着手迄ノ處置動作

### 其一 一般ノ場合

#### 一 項目

- 一 地形偵察ノ爲任地ニ向ヒ先行ス
- 二 中隊ト小哨トノ中間地ノ地形ヲ觀察ス
- 三 小哨ノ位置ヲ決定ス
- 四 部下小隊ヲ所要ノ位置隊形ニ停止セシム
- 五 步哨配置ノ爲所要ノ地形偵察ヲナス

#### 二 出發後任地到着迄ノ處置動作

小哨長ハ停止若シクハ行進中ニ於テ前節ニ研究セル處置動作ヲ終ルヤ傳令其他所要ノ人員ヲ同伴シ警戒斥候ノ掩護下ニ任地ニ向ヒ進路及其兩側地區ノ一般ノ地形ヲ觀察シツ、捷路ヲ探リ先行ス此ノ間要レハ隨伴者中ノ一二名ヲ斥候的ニ

使用シ所望ノ地點附近ヲ偵察セシムルコトアリ而シテ此ノ際偵察スヘキ主要ナル着眼ハ左ノ諸項トス

- 一 中隊トノ連絡及報告ノ爲探ルヘキ通路ハ如何
- 二 退却ニ際シ探ルヘキ方向及通路ハ何レヲ適當トスルヤ
- 三 小哨中隊間ノ通過ノ能否及交通ノ爲特別處置(阻絶工事或ハ短橋架設等ノ如キ)ヲ必要トスルヤ否ヤ

#### 四 小哨中隊間ノ通視ノ能否及視號通信ヲ應用シ得ルヤ否ヤ

以上列擧スルカ如シト雖必スシモ是等ヲ綿密ニ研究決定スルヲ要セス止ムヲ得サレハ步哨配置後更メテ偵察決定スルモ差支ナシ要ハ以上ノ如キ着眼ヲ以テ地形ヲ觀察シツ、任地ニ到ルヘキモノナルコトヲ了得スレハ可ナリ

而シテ小哨長先行後部下小隊ハ古參者ノ引率ヲ以テ任地ニ向フ此ノ際小隊ハ通常側面縱隊ヲ用ヒ速歩ノ速度ヲ以テ小哨長ノ指示セル道路ヲ指示セル地點ニ向ヒ前進シ特別ノ警戒法ヲ設クルコトナシ之レ步哨配置間ノ警戒斥候及小哨長ノ先行等ハ自然其小隊ノ直接警戒トナルヲ以テナリ然レトモ情況之ヲ要スレハ敵



眼ニ曝露スル虞アル地區ヲ通過スル爲歩度ヲ速メ或ハ特別ノ隊形ヲ取り又ハ小隊ノ直前ニ微弱ナル小斥候ヲ前進セシメ直接警戒トナスコトアリ

### 三 任地到着後ノ處置動作

小哨長ノ一行先行シテ任地附近ニ達スルヤ先ツ小哨ノ位置ヲ決定ス其際ノ着眼ハ前節其二ニ研究セルヲ以テ今再ヒ之ヲ重ネス唯地形ノ状態ニヨリ容易ニ其位置ヲ決定シ得サル時ハ小哨長ハ先ツ適宜ノ地點ニ部下小隊ヲ停止セシメ次ヲ決定セル小哨ノ位置ニ移スヲ要ス之カ爲一時停止セシムヘキ地點ハ左ノ諸件ヲ具備スルヲ要ス、

- (一) 敵眼ニ遮蔽スルコト
  - (二) 不意ノ敵襲等ニ際シテハ直チニ抗戰ニ便ナル地點ニ進出シ得ルコト
  - (三) 決定セラルヘキ小哨ノ位置ヨリ過遠ナラス且發見容易ナル地點ナルコト
- 而シテ小哨長ハ小哨ノ位置ヲ決定スルカ或ハ之ニ先チ一時其部下小隊ヲ停止セシムヘキ地點ヲ決定セル時ハ此ノ位置ニ傳令一名ヲ殘置シ後刻到來スヘキ部下小隊ニ其停止スヘキ置位隊形及方向等ヲ傳達セシメ尙ホ小哨長ノ爾後ノ行動ノ

### 概要ヲ傳告セシム

右ノ處置ヲ終ルヤ小哨長一行ハ直チニ步哨配置ノ爲所要ノ地形偵察ヲ行フ其要領ハ各步哨ノ守地ヲ一々踏査スルニ非ラスシテ適當ノ地點ニ至リ全般ノ地形ヲ觀望シ大體ノ偵察ヲナセハ足ル而シテ此ノ間要スレハ傳令ヲ以テ敵方ノ監視ニ任ス、

此ノ偵察ニ用フル時間ハ成ルヘク之ヲ短縮シ部下小隊ヲ無爲ニ駐止シアラシメサルコト緊要ナリ即チ適宜偵察ヲ打チ切り速カニ小哨ノ位置ニ歸還シ成ルヘク早ク步哨配置ニ着手スルヲ要ス、

小隊ノ引率者ハ所命ノ地點附近ニ達スレハ多クハ小哨長ノ殘置セル傳令ニ依リ更ニ停止ノ位置隊形等ニ關スル細部ノ指示ヲ受クルナラン若シ然ラサルトキハ獨斷ヲ以テ之等ノ諸件ヲ決定シテ停止スルモノトス其何レノ場合ヲ問ハス引率者ハ停止スルヤ直チニ直接警戒ノ爲所要ノ監視兵ヲ設ケ且成ルヘク小哨長ニ連絡ヲ求メ小隊ノ到着ヲ報告スルヲ要ス、

### 其二 特別ノ場合

第二節 出發後步哨配置着手迄ノ處置動作



出發後步哨配置着手迄ノ一般ノ狀態ハ以上說述スルカ如シト雖而カモ屢遭遇スヘキ特例アリ即チ夜暗濃霧又ハ森林等ノ如キ蔭蔽錯雜地ニ在リテハ小哨長ハ縱令先行スルモ其先行ノ目的タル地形偵察困難ニシテ殆ト先行ノ價值ナキノミナラス却テ部下小隊ノ掌握ヲ害スルニ至ルコト多シ故ニ斯クノ如キ場合ニ於テハ小哨長ハ部下小隊先頭ニ在リ直接之ヲ引率シツ、任地ニ向フヲ適當トス往々無意義ニ先行シ夜暗ノ爲衛戍地附近ノ熟地ニ於テ部下トノ連絡ヲ失シ互ニ相搜索シ迷ヒ迷ヒテ遂ニ拂曉ニ至レリトノ笑話ヲ聞ク況ンヤ未知ノ戰場ニ於テオヤ決シテ笑話ニ終ラサルヘシ

而シテ此ノ場合任地附近ニ到着後ノ行動ニ關シ小哨長ノ戒ムヘキ要件ハ案リニ部下小隊ト共ニ徘徊シ或ハ不用意ニ部下小隊ノ位置ヲ離レサルコト之ナリ若シ徒ラニ掌握ヲ失センコトヲ懼レ小哨長ノ身邊ニ常ニ部下小隊ヲ伴フトキハ部下小隊ヲ無益ニ疲勞セシムルノミナラス小哨長ノ動作ノ自由ヲ妨ケ敏活ヲ敏キ機宜ニ適スル處置動作ヲナシ得サルヘシ之ニ反シ不用意ニ部下小隊ヨリ分離センカ時トシテ再ヒ之ヲ掌握スルニ多大ノ時間ヲ要シ遂ニ亦機宜ニ適應スル處置動

作ヲナシ得サルニ至ルコト尠ナカララス故ニ小哨長ハ部下小隊ヲ同伴スヘキヤ或ハ一地ニ停止シ在ラシムヘキヤニ就テハ深甚ノ顧慮ヲ要ス、

### 第三節 步哨ノ配置法

#### 其一 步哨配置法ノ種類比較及應用スヘキ場合

步哨配置ノ方法ヲ分ツテ二種トス即チ

陣中要務令第六十八ノ方法以下假ニ光線法ト稱ス、

同第六十九ノ方法以下假ニ導線法ト稱ス、

之ナリ而シテ其利害ノ主要ナル差異ヲ比較スレハ左ノ如シ

一 光線法ハ同時ニ各步哨ヲ其守地ニ就カシメ得ルヲ以テ逐次ニ步哨ヲ配置スル導線法ニ比シ步哨線ノ形成迅速ナリ、

二 光線法ニ於テハ各步哨ハ小哨ト自己ノ守地トノ間ノ地形特ニ交通路ヲ最初ヨリ承知スルモ導線法ニ於テハ各自其守地ニ就キタル後之ヲ偵察決定スルヲ要ス、



三 光線法ニ於テハ步哨配置開始前全般ニ步哨線ノ概況ヲ指示シ得ルモ導線法ニ於テハ步哨配置完了後ニ非ラサレハ之ヲ指示シ得ス、

四 光線法ニ於テハ時トシテ各步哨ハ小哨長ノ意圖外ノ地點ニ至ルコトアルモ導線法ニ於テハ小哨長自ラ誘導スルヲ以テ此ノ憂ナシ、

以上ノ利害ニ基キ之カ適用ノ場合ヲ研究スレハ

導線法ハ陣中要務令ニモ指示セル如ク步哨ノ員數及其位置ヲ初メヨリ概定シ得サル場合及

縦合步哨ノ員數位置及其種類ヲ初メヨリ概定シ得ル場合ニ於テモ地形及明暗ノ度等ニ依リ光線法ヲ適用スル時ハ小哨長ノ指示スル地點ヲ步哨カ誤ルノ虞アル場合等ニハ之ヲ適用スルヲ可トス

光線法ハ最モ便利ナル配置法ニシテ情況之カ適用ヲ許ス情況ニ在リテハ常ニ此ノ方法ニ依ルヲ有利トス

故ニ縦合導線法ヲ用ウル場合ニ在リテモ其一半ニ光線法ヲ應用シ得ルトキハ勉メテ之ヲ併用シ步哨線ノ形成ヲ迅速ナラシムルヲ可トス

## 其二 光線法ニ依ル方法

### 一 項目

- 一 步哨配置ニ關スル命令ノ下達
- 二 各步哨ニ出發ヲ命ス
- 三 小哨ノ位置ニ殘留スヘキモノニ所要ノ任務ヲ授ク
- 四 所要ノ傳令ト共ニ特別守則授與ノ爲出發
- 五 特別守則ノ授與
- 六 小哨ノ位置ニ歸還

### 二 步哨配置ニ關スル命令ニ就テ

此ノ命令ニ含有セシムヘキ事項概ネ左ノ如シ

(一) 小哨ノ位置、

(二) 各步哨毎ニ人員位置其探ルヘキ捷路並ニ其步哨掛又ハ下士哨長ノ指定

(三) 小哨長直後ノ行動

此ノ命令ノ一例ヲ示セハ



## 命令

小隊ハ本夜現在地ニ位置シ小哨トナル  
 某軍曹ハ某々々等六名ヲ率井此家ノ向フノ三叉路ヲ右へ約三百米前進シ無名  
 小流ノ橋梁附近ニ位置シ敵方ヲ監視シアルヘシ但シ下士哨トスル豫定  
 某上等兵ハ某々々等九名ヲ率井某軍曹等ト同行シ三叉路ヨリ約百米ノ地點ニ  
 於テ四叉路ヲ左ニ折レ更ニ約百五十米前進シ竹林ノ北端附近ニ位置シ敵方ヲ  
 監視シアルヘシ但シ三人哨トナス豫定

某伍長ハ云々、々、略ス

小哨長ハ特別守則授與ノ爲逐次右ヨリ各歩哨ノ位置ニ至ル某伍長某上等兵某  
 上等兵ハ傳令同行スヘシ

次ニ此ノ命令及其下達ニ關シ若干ノ研究ヲナサントス

## 一 命令ニ含有セシムヘキ事項ニ就テ

此ノ命令ニ含有セシムヘキ事次及順序モ作戰命令同様第一項ニ敵情及友軍ノ  
 情況ヲ示シテハ如何曰ク恐ラク之ヲ示スノ必要ナカラン之等ハ既ニ小哨照務

ノ當初必要ニ應シ指示セル筈ナリ然ラハ其後新情報ニ接セサル限り殊更形式  
 ニ拘泥シテ示スノ必要ナシ但シ必要アラハ勿論其必要ニ從ハサルヘカラス  
 又小哨長特別守則授與ノ爲小哨ノ位置ヲ離ル、ニ臨ミ小哨ニ殘留スルモノニ  
 與フヘキ諸任務モ此ノ際同時ニ命令シテハ如何之一應尤ノ意見ナリ然レトモ  
 一刻モ早ク各歩哨ヲ其守地ニ就カシムル爲ニハ先ツ緊要ノ處置ヲ命令シ直チ  
 ニ實行セシムルヲ可トス之カ爲此ノ命令ニ於テハ單ニ歩哨配置ニ必要ナル件  
 ノミヲ命スルヲ宜シトス

## 二 歩哨ノ番號及種類ニ就テ

歩哨ノ番號及種類ハ此ノ命令ニ於テ示スモ差支ナキカ如シ然レトモ實際ノ經  
 験ニ徴スルニ兩翼ノ歩哨ハ比隣小哨ノ警戒配備ノ状態ニ依リ往々不用トナル  
 コトアルノミナラス場合ニ依リテハ豫メ配置セル兩歩哨間ニ更ニ一個ノ歩哨  
 ヲ挿入スルヲ必要トスル情況ヲ生スルコト少ナカラス之等ハ特別守則授與ノ  
 爲小哨長親シク歩哨線ヲ踏査スルニ到リ始メテ發見シ得ルモノトス故ニ歩哨  
 ノ番號ハ特別守則ニ於テ授與スルマテ示サ、ルヲ可トス



同様ニ步哨ノ種類モ亦小哨長現地ニ臨ミ豫定ヲ變更スルノ必要生スルコト尠ナカラス故ニ此ノ命令ニ於テハ豫定ト命シ置キ特別守則ニ於テ之ヲ規定スルヲ通常有利トス

### 三 步哨ニ服務スル兵卒ノ選抜ニ就テ

吾人ノ管見ヲ以テスルニ從來某軍曹ハ兵卒何名ヲ率非云々ト示スヲ一般トスルカ如シ然レト吾人ハ少シク複雑ナルノ感アルモ此ノ命令ニ於テ小哨長ハ步哨ニ服務スヘキ兵卒ノ氏名ヲ指示スルヲ可トスト考フ其理由ハ單ニ兵卒何名ト示シ之カ選抜ヲ下士哨長或ハ步哨掛ニ一任スル時ハ人情トシテ優秀ノモノノミヲ選定スルモノナリ然ルトキハ斥候巡察等ノ如キ勤務ニ差支ヲ生スルニ至ルコトアリ元來步哨ニハ兵卒全員何レモ服務シ得ル如ク教育シアルモ斥候巡察ノ如キ勤務ニハ全員何レモ適スルモノニ非ラス故ニ小哨長ハ成シ得ル限リ之ヲ規定スルヲ可トスヘシ

### 四 命令ノ下達法ニ就テ

命令ノ下達ハ常ニ森嚴ナラサルヘカラス此ノ命令ニ於テモ亦然リ即チ小哨長

ハ部下小隊ヲ小哨ノ位置ニ集合セシメ之ニ氣ヲ付ケヲナサシメ小哨長ハ其前面ニ占位シ拔刀シ嚴正ナル姿勢態度ヲ以テ全般ニ徹底スル如ク下達スルヲ要ス步哨掛及下士哨長ノミヲ小哨長ノ身邊ニ集メ地圖ニ依リ相談スルカ如キ状態ニテ命令スルハ宜シク之ヲ避ケサルヘカラス之レ獨リ命令ノ權威ヲ損スルノミナラス各步哨ノ位置ヲ小哨ノ全員ニ承知セシムルニ不便ナリトス若シ地圖ニ依ルカ或ハ現地ヲ目撃シ得ル地點ニ誘導シテ指示スルニ非ラサレハ適確ニ步哨ノ位置ヲ指示シ得ス爲ニ其位置ヲ誤解スルノ虞アルカ如キ場合ニハ先ツ全般ニ對シ概略ノ位置ヲ命令シ置キ後必要ナル步哨掛又ハ下士哨長ニ詳細ニ指示スルヲ可トス命令中ニ列外ニ之ヲ呼ヒ出シテ指示スルカ如キハ實兵指揮上適切ナラス

### 五 命令下達間ノ直接警戒ニ就テ

此ノ命令ヲ下ス際ハ小哨ノ前方ニハ步哨配置ノ警戒斥候派遣セラレアルノミ故ニ小哨ノ直接警戒ニ就テハ特別ノ注意ヲ拂ハサルヘカラス然ルニ往々此ノ注意ノ缺如セルモノアルヲ見ル即チ一言ヲ用フル所以ナリ



### 三 小哨ニ殘留スルモノニ與フル任務ニ就テ

小哨長ハ步哨配置ニ關スル命令ヲ下シ其任務ヲ各步哨掛又ハ下士哨長カ確實ニ了解スルヲ認ムルヤ直チニ出發ヲ命シ各其守地ニ就カシム、而シテ小哨長ハ成ルヘク速カニ各步哨ノ位置ニ至リ特別守則ヲ授與セントス之カ爲小哨ノ位置ヲ離ル、ニ際シ小哨ニ殘留スヘキモノニ必要ノ諸件ヲ命ス今之ニ關シ所要ノ研究ヲ試ミントス、

#### 一 小哨長代理ニ就テ

別命ナシト雖一部隊ノ長其部隊ヲ離ル、トキハ其部隊ニ殘留スルモノ、中ノ高級故參者ハ之ヲ代理スヘシト雖前哨勤務ニ於テハ特ニ此ノ指揮ノ關係ヲ明瞭ナラシムルコト緊要ナリ即チ陣中要務令第五百五十二代理ノ定則ヲ掲クルト同時ニ同第七十六ニ小哨長ハ常ニ其所在ヲ明ニスヘキコトヲ要求シアリ旣味スルヲ要ス、即チ小哨長ハ先ツ出發前某軍曹ハ小哨長代理ト命スルヲ要ス而シテ此ノ際注意スヘキハ折角小哨長不在中ノ代理ヲ命シナカラ此ノモノニ對シ往々小哨ノ位置ヲ離ル、ニ非ラサレハ其任務ヲ達成シ得サル如キ任務ヲ

重複シテ課スルモノアルコト之ナリ例ヘハ小哨ト中隊トノ中間地ノ地形偵察ヲ命スルカ如キ之ナリ之等ハ全ク小哨長代理ヲ命スル目的ヲ知ラサルモノト云フヘシ

#### 二 小哨ノ位置附近ノ地形偵察ニ就テ

小哨長ノ特別守則授與間ニ小哨附近ノ地形ヲ明ニスルコトハ極メテ必要ノコト、ス故ニ適當ノ下士上等兵等アラハ之ニ地形偵察ヲ命スルヲ可トス但シ此際注意スヘキハ單ニ小哨附近ノ地形ヲ偵察セヨ或ハ前面ノ小流ヲ偵察セヨト漠然タル任務ヲ課セサルコト之ナリ須ラク部分的ニ且ツ其目的ヲ示シ偵察セシムルヲ要ス例ヘハ某ハ前面ノ小流ニ就キ石橋ヨリ下流百米ノ間ヲ左ノ諸件ニ關シ偵察スヘシ兩岸ノ高サ水深河底ノ狀態河幅等而シテ徒涉ノ難易ヲ判斷スヘシ某ハ右前ノ村落ノ外周ヲ偵察スヘシ敵ノ斥候ノ進入ヲ許スヤ否ヤ之ヲ防止スル爲特別ノ工事ヲ要スルヤ否ヤ及村落ノ出入口ノ數及狀態ヲ詳細ニ偵察スヘシト云フカ如クナルヲ要ス殊ニ一下士卒ニ小哨ノ抵抗線ヲ偵察セシムルカ如キハ大ナル誤リトス、



### 三 銃前哨ノ設置ニ就テ

此ノ事ハ歩哨配置ノ命令中ニ示スカ否ラサレハ必ス出發前特ニ其歩哨掛ヲ指名シ之ヲ設置セシムルヲ要ス未熟ナル小哨長ノ兎角失念シ易キ處トス殊更一言シテ注意ヲ喚起シ置カントス、

### 四 諸材料ノ偵察ニ就テ

諸材料ノ所在地數量等ヲ偵察スルコトモ亦必要ナリ即チ抗戰ノ諸設備ニ要スル材料ノ如キ或ハ銃架材料ノ如キ之ナリ  
然レトモ露營材料ノ偵察ヲ命スルモノアルハ誤ナリ元來小哨ハ宿營スヘキモノニ非ラス警戒配置ノマ、夜ヲ徹スヘキモノトス露營材料ノ偵察蒐集等ハ以テノ外ノコトナリ婆言ヲ加フ

### 五 諸場地ノ偵察ニ就テ

井水ノ位置周圍ノ位置等ノ偵察ハ亦必要ノコト、ス然レト之等ハ直接警戒ニ必要ナキヲ以テ必スシモ此ノ時機ニ偵察ニ着手セサルモ可ナリ殊ニ昨今給養ニ關スル研究流行スル前哨勤務中ヤノ飯盒炊爨ハ其最モ至難ナルモノナリト

ノ考ヘヨリ各隊競フテ之カ研究ニ從事セリ其結果小哨長モ亦任務ヲ受クルヤ歩哨線ノ警戒ヨリ炊爨法ニ多クノ力ヲ用ヒントスルノ傾向アリ小哨ニ於テ炊爨ヲナスカ如キハ恐ラク絶無ノコトナルヘク且ツ前哨ハ給養ヨリモ先ツ警戒配置ヲ完了スルコトヲ以テ主眼トセサルヘカラス即チ此ノ多忙ノ時機ニ炊爨所ノ偵察等ヲ命スルカ如キモ誤リナリト斷言シテ憚ラス

### 六 小哨長代理ヲ命シタルモノニ器具ノ卸下ヲ命ス

此ノ事ハ別段研究スル丈ケノコトナシ

### 七 某下士ニ要圖ノ調製ヲ命スルコトニ就テ

小哨長ハ陣中要務令第七十四ノ要求ニ基キ其配置完了後成ルヘク速ニ中隊長ニ報告シ且ツ隣スル小哨ト連絡セサルヘカラス之カ爲特別守則授與ノ爲出發スルニ方リ要圖ノ調製ヲ命シ置ク時ハ便利ヲ得ルコト多シ而シテ其數ハ通常三枚トシ適切ニ描寫スヘキ地域ヲ示シ置クヲ要ス又隊標ハ成ルヘク小哨長自ラ之ヲ記入スルヲ可トス、

但シ吾人ハ青年將校ノ爲婆心トシテ左ノ一言ヲ呈セントス平時ニ於テハ優秀



ナル分隊長アリ要圖ノ調製ヲ命スルモ能ク之ヲナシ得ヘシ又昨今准尉制度施行以來下士教育ノ目的ノ爲ニモ要圖調製ヲ命スルハ價值アリ然レトモ實戰ニ際シテハ分隊長以下ニシテ果シテ要圖調製ノ手腕アルモノ小隊内ニ幾人アルヘキカ恐ラク此ノ事ハ云フヘクシテ行ハレ難キ事ナラン故ニ將校タルモノハ至短時間ニ小哨配置ノ要圖二三枚位ハ書キ得ルノ手腕ヲ平素ヨリ練磨シ置カサルヘカラス、

以上記述スル處ニ依リ概ネ其大要ヲ盡セリト雖小哨長ハ能ク時ノ状態ヲ稽ヘ徒ラニ繁雜ナル處置ヲナシ或ハ價值ナキ事項ヲ命シ以テ特別守則授與ノ爲出發スル時刻ヲ遷延セサル如ク適宜取捨セサルヘカラス今顧慮スヘキニ要件ヲ示セハ左ノ如シ

警戒配備上必要ナル諸件ハ縱令若干ノ時間ヲ費スモ之ヲ命シ否ラサルモノハ後刻ニ讓ルヲ適當トス

又下士以下ノ能力ヲ稽ヘ地形偵察等ハ小哨長自ラ一駆シテ觀察スルト下士以下ヲ使用スルト其時間及結果ニ於テ何レカ有利ナルヤヲ判斷スルヲ要ス

#### 四 別特守則授與ノ際同伴スヘキ傳令其他ニ就テ

特別守則授與ノ際小哨長ノ同行スヘキ傳令其他ニ就テ顧慮スヘキ件左ノ如シ

- 一 成ルヘク敵ノ注意ヲ惹カサル爲少數ナルヲ要ス、
- 二 必要ニ際シ步哨ヲ増設スルノ要求ニ應シ得ル爲メ少クモ步哨掛又ハ下士哨長ニ充テ得ヘキモノ一及一番立ニ服務スヘキ兵卒二名ヲ傳令トシテ同行スルヲ要ス、

- 三 步哨線及各步哨ノ位置並ニ步哨線附近ノ地形ヲ暗識セシムル爲巡察ノ長タルヘキモノヲ同行スルヲ得ハ將來巡察ノ動作ヲ容易ニス、

#### 五 特別守則ニ就テ

特別守則ノ授與法ヲ研究スルニ先チ特別守則ニ就キ若干ノ研究ヲナサントス

##### 一 步哨ノ番號ニ就テ

要務令ノ文句通りニ解釋スレハ此ノ步哨ハ第一複哨或ハ此ノ步哨ハ第三下士哨ト示セハ足ル然ルニ往々此ノ步哨ハ前哨第何中隊第何小哨ノ第三下士哨ト云フカ如ク中隊ノ番號迄示スモノアルハ少シク適當ナラサルカ如シ特ニ比隣



小哨トノ關係上單ニ「第一複哨」ノミニテ不適當ト考フル時ハ小哨ノ番號ヲ示ス位ニテ可ナラン而シテ一兵卒ニ至ル迄自己ノ所屬隊ノ部隊號ヲ敵ニ秘匿スヘキモノトノ觀念ヲ養生スルヲ可トス、

## 二 敵情並ニ前方ニ在ル我部隊及斥候ノ情況ニ就テ

此ノ項ニ就キテハ若干議論アリ曰ク之ヲ特別守則トシテ示スニハ幾何ノ程度迄示セハ可ナルヤ又步哨カ服務中ニ見聞セシ事件ハ直チニ特別守則トスヘキヤ否ヤ甲ハ特別守則中ニ含有セシムヘシ其理由ハ步哨ハ一般守則ト特別守則ノ外傳告事項ノ如キモノヲ存スルハ適當ナラスト主張シ乙ハ特別守則ハ小哨長ノ規定スルモノナリ故ニ傳告事項ハ一般、特別兩守則ノ外ニ存セシムヘシト主張ス、

然レトモ以上ノ議論ハ左ノ原則ニ依リ恐ラク不成立ニ終ルヘシ、

(一) 特別守則ハ敵情及反軍ノ情況ノ變化スルト共ニ適時變更セララルヘキモノトス、

(二) 特別守則ハ時ノ情況ヲ小哨長ノ戰術的着眼ニ基キ判斷シ步哨ノ任務達成

ニ必要ナル事故ヲ限り適切ニ附與セララルヘキモノトス、

(三) 陣中要務令第七十九及同第八十二ニ於テ特別守則ト步哨服務中ノ見聞

ニ係ル傳告事項トハ明瞭ニ區別シアリ、

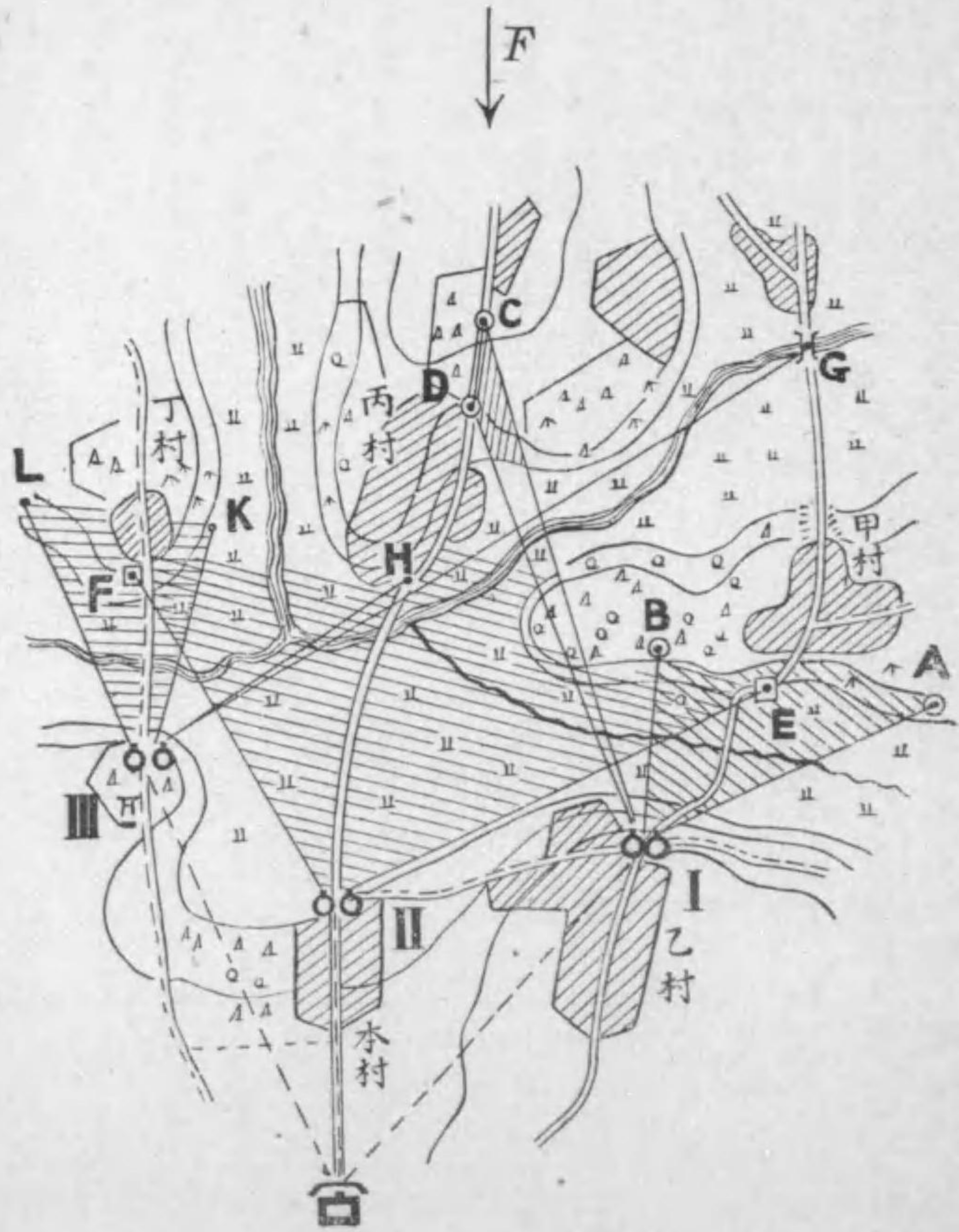
## 三 特ニ監視スヘキ區域ニ就テ

步哨ノ特ニ監視スヘキ區域ニ就テハ晝夜大ニ其趣ヲ異ニスルコトニ注意スルヲ要ス、

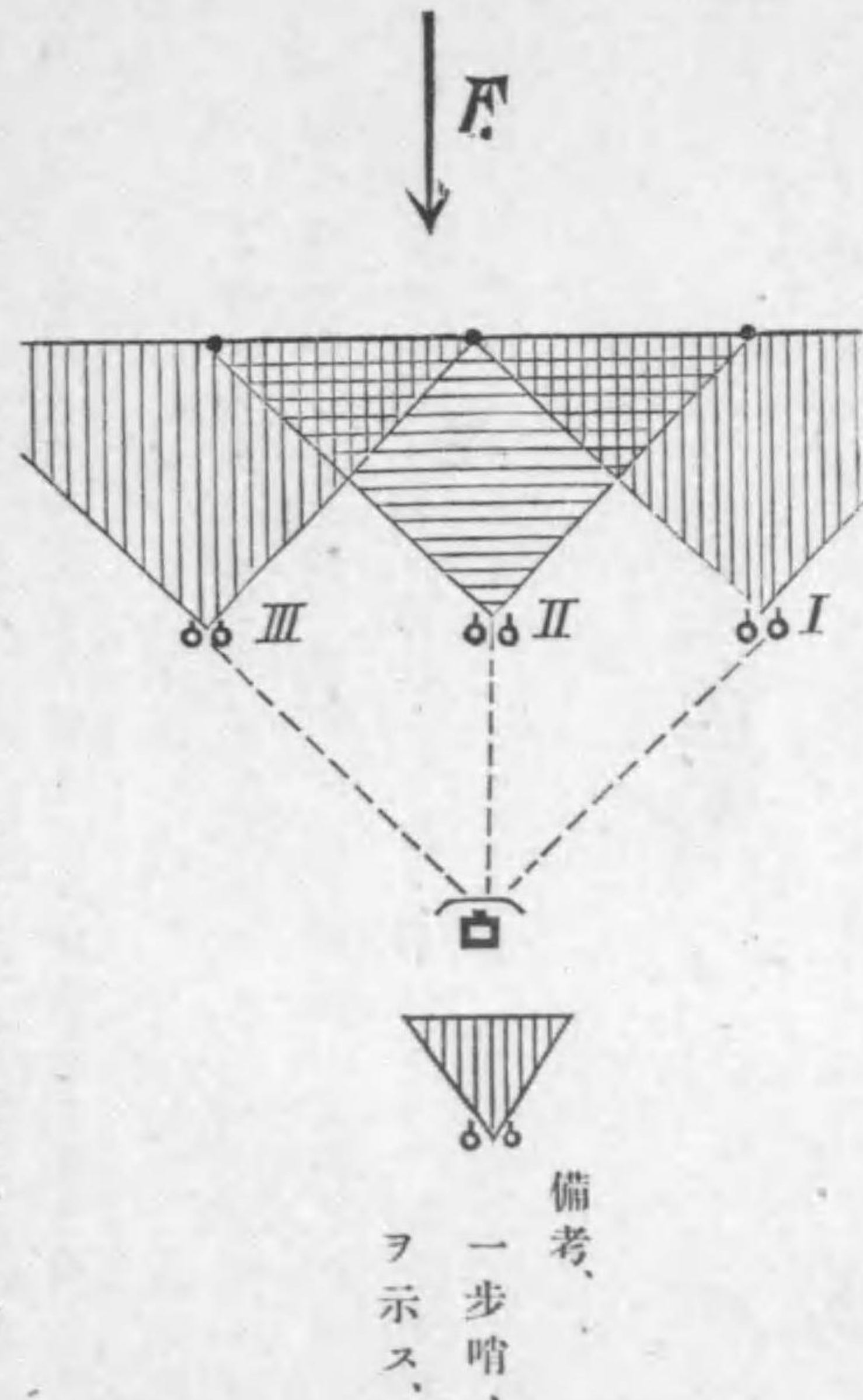
又區域ナル語ニ拘泥シ是非共步哨前面ノ一地域ヲ區分シ指示スルハ適當ナラス步哨配置ニ關シテハ此ノ監視區域ノ決定ニ深甚ノ注意ヲ要ス例ヘハ平凡ノ地形ニ於テハ左圖ノ如ク前地ヲ區分シ以テ敵ノ一兵ト雖我步哨ノ視察ヲ免レ得サラシムルヲ可トスルモ



第三節 歩哨ノ配置法



之ニ反シ地形稍複雑ナル場合ニハ其歩哨ヲ設置セル目的ニ稽ヘ之ニ適合スル  
 如ク監視區域ヲ配當セサルヘカラス之カ爲監視區域ハ場合ニ依リ一步哨ノ爲  
 數個ノ地域ヲ示シ又時トシテハ監視區域ニ更ヘ唯一地點ヲ監視セシムルコト  
 アリ即チ左圖ニ於テ



備考  
 一步哨ノ監視區域  
 ヲ示ス



第一步哨ハ 甲村—乙村道ヲ監視シ且ツ 丙村—本村道ヲ成ルヘク遠ク監視セシムル目的ヲ以テ配置ス從テ其監視區域ハA—B及C—Dトス

第二步哨ハ 主トシテ丙村—本村道ヲ監視スルニ在リ之カ爲其監視區域ヲE—Fトシ主目的ノ外 甲村南端及 丁村南端ニ注意セシム

第三步哨ハ 丁村方向ヲ監視シ併セテ 第一步哨ノ遠望不能ヲ補フ目的ヲ以テG橋梁ヲ監視セシム

即チ地形復雜ナル爲視界ハ比較的廣キモ遠望全ク不可能ナリ故ニ步哨相互ヲシテ交叉的ニ監視シ成ルヘク早ク前方ノ情況ヲ知得セシメントス斯クノ如キ場合ニハ其監視區域モ亦自然相交叉シ且ツ一步哨ニ數個ヲ示スヲ可トスルニ至ル

#### 四 必要ナル道路村落等ノ名稱ニ就テ

特別守則トシテハ別ニ研究ノ餘地ナシ然レ共必要ナルノ副詞ニ注意スルヲ要ス而シテ道路村落等ノ必要ノ度ハ晝夜ニ依リ大ニ其價值ヲ異ニスルコトニ注意スヘシ往々晝間遠方ノ重要ナル村落ノ名稱ヲ特別守則ニ與ヘタルマ、夜暗

ニ入ルモ之ヲ改メス從テ步哨ハ無意味ニ困難ナル地名ヲ暗誦シ其位置ヲ問ヘハ反對ニ近キ方向ヲ指シツツ多分此ノ方向ナラント答フルモノアルヲ見ル小哨長ハ能ク狀況ヲ考ヘ實際ニ適合スル如ク守則ヲ與フルヲ要ス

#### 五 隣步哨トノ連絡法ニ就テ

比隣步哨トノ連絡法ニ就テハ吾人ハ特ニ注意ヲ周密ニシ十分研究ノ上適切ニ指示セラレンコトヲ要望スルモノナリ此ノ連絡法ノ規定ハ動モスレハ形式ニ流レ殊ニ甚シキハ

連絡ハ右第一下士哨ヨリ取りニ來ル筈左第三復哨トハ相互ニ取レノ如ク連絡ノ爲動哨ヲナスヘキ步哨ヲ指定スルモノアリ之等ハ連絡法ヲ規定セルモノト認ムル能ハス寧ロ連絡ノ不適切ナラシムル規定ナリト惡評シテ憚ラス

抑步哨ノ連絡ハ兩者双方ヨリ取ルヲ原則トス之レ自己ノ任務達成上比隣兩步哨ノ異狀ノ有無ヲ明ニスル爲ノ行爲ナレハ其理由ノ如何ヲ問ハス甲乙兩步哨間ニ於テ甲步哨ニノミ連絡ヲ取ラシメ乙步哨ニハ全ク甲步哨トノ連絡ヲ顧慮



外ニ置クモ妨ケナキ如ク誤解セシメ易キ規定ハ絶對ニ不可ナリ以下少シク蛇足ノ嫌アルモ連絡ノ手段方法ニ就キ少シク研究ヲ試ミントス  
連絡ノ方法手段ハ左ノ四種ニ大別シ得ヘシ

第一、相互目視ニ依ル法

此ノ方法ハ晝間ニ於テハ相互通視シ得ル場合ニ在リテハ縦合他ノ方法ニ依ル時ト雖常ニ併用スヘキモノトス而シテ特ニ之ノミニ依ル場合ハ

兩歩哨間ニ通過シ得サル河川沼澤等アル時或ハ

兩歩哨間平坦開濶ニシテ動哨ヲ用フル時ハ敵ノ注視ヲ惹キ易キ場合

等トス

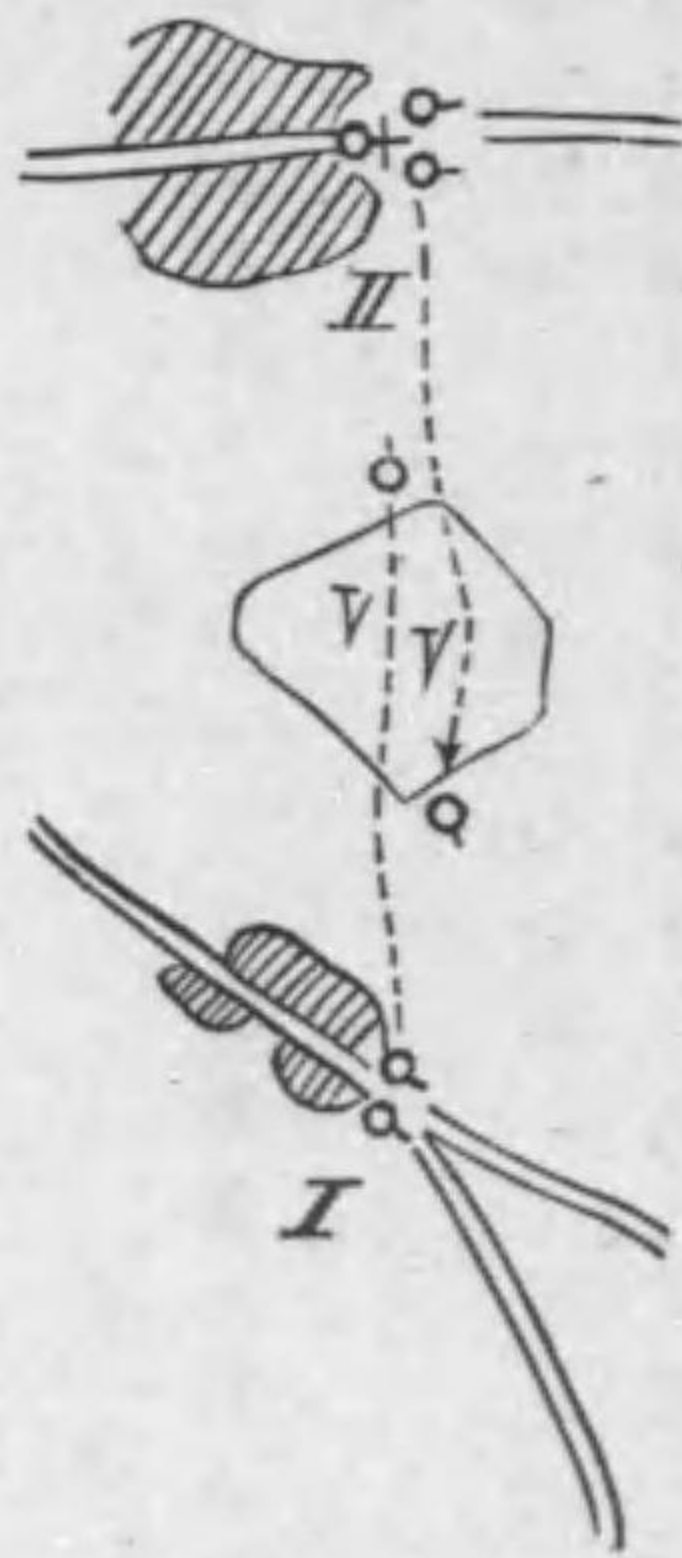
又夜間ニ於テハ著シク敵ニ近接シ兩歩哨ノ間隔ヲ短縮シ相互ニ通視シ得ル如ク配置セル場合ニ殆ント限ルモノトス

第二、動哨ニ依ル法

此ノ方法ハ多クノ場合用ヒラル、方法ニシテ且最モ確實ナル連絡法トス

第三、動哨ト目視トノ併用ニ依ル法

此ノ方法ハ何レカト云ヘハ目視ニ重點ヲ有スル連絡法ニシテ例ヘハ歩哨相互ニ其位置ヨリハ通視シ得サルモ少シク移動スレハ隣歩哨ヲ目撃シ得ルカ如キ場合ニ應用セラル、モノニシテ比較的其場合尠シ(左圖參照)



第四、第三者(例ヘハ巡察等)ニ依ル法

此ノ方法ハ敵ニ未タ遠キ場合ニ於ケル行軍前哨等ニ於テ兩歩哨間ノ間隔著シク離隔セルカ或ハ中間ニ地障等アリテ兩歩哨相互ノ通視ハ勿論動哨モ亦困難ナル場合ニ用ヒラル、モノトス從テ此ノ連絡法ハ緊密ナラスト雖未タ敵ト離隔シアル場合ニ在リテハ之ヲ以テ満足シ得ルコト尠カラス  
而シテ小哨長カ連絡法ヲ指示規定スルニ方リテハ單ニ右四種ノ何レヲ應用ス

第三節 歩哨ノ配置法



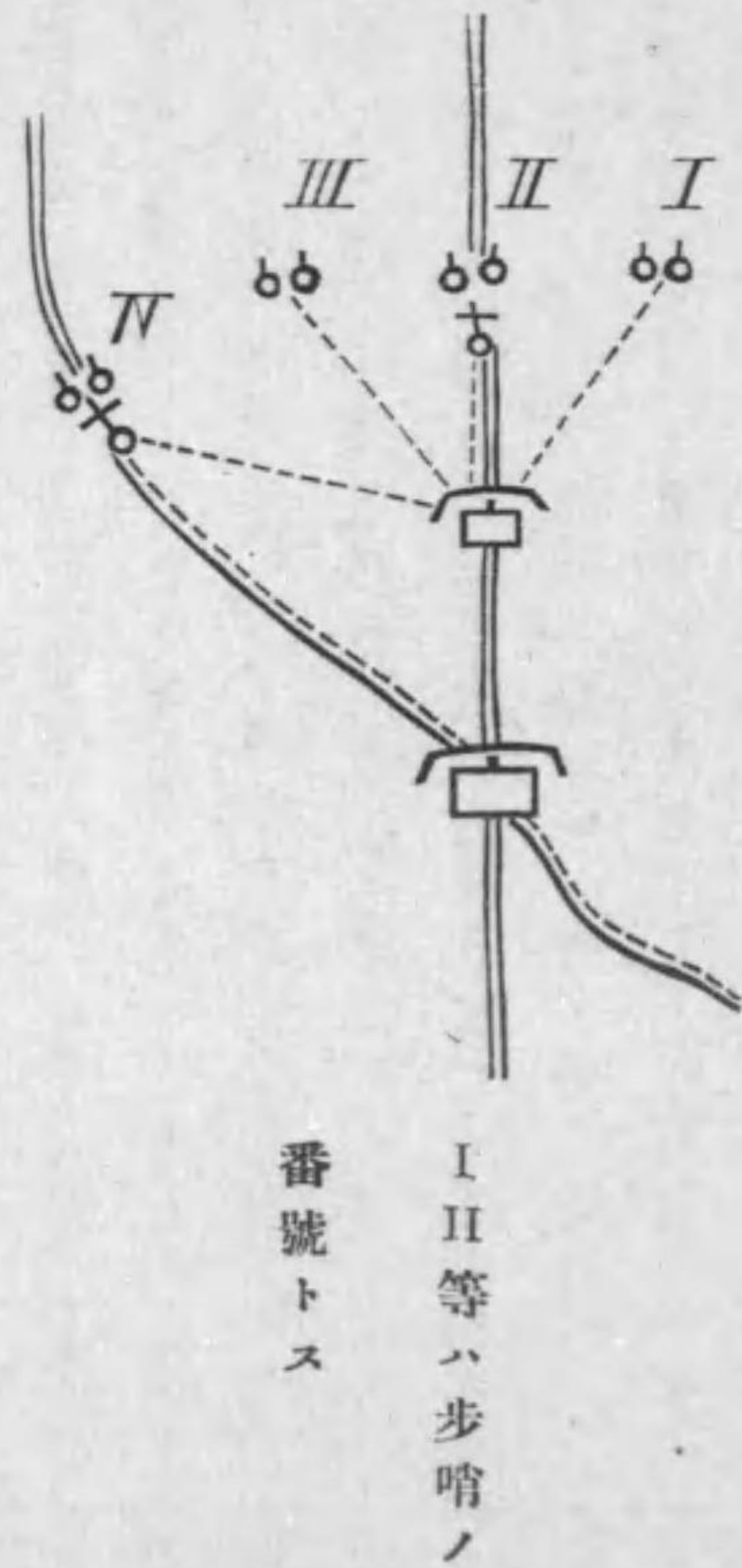
ヘキヤヲ示スノミナラス更ニ其細部ニ亘リ實施法ヲ教示スルヲ要ス例ヘハ  
 右第一下士哨トノ連絡ハ晝間ハ目視ニ依リ夜間ハ動哨ニ依リ服務中ニ少ク  
 モ三回相互ニ取ルヘシ但シ必要ノ認メタルトキハ此ノ外臨時ニ取レ  
 若シ晝間動哨ノ必要アルトキハ此後方ノ村端ヨリ生籬ノ在ル道路ニ依リ次  
 テ彼ノ森林内ヲ經テ第一下士哨ニ至レ  
 夜間動哨ノ通路ハ此ノ麥畑内ノ小徑ニ依リ次テ彼ノ一本木ヲ目稱トシテ往  
 復スヘシ

等ノ如ク服務中ニ連絡スヘキ回数並ニ其通路等ヲ詳細ニ示スヲ要ス而シテ通  
 路決定ニ方リテハ

敵眼ニ遮蔽スルヲ主トスルヤ  
 往復ノ時間ヲ短少スルヲ主トスルヤ或ハ  
 兩歩哨間ニ敵ノ進入スルヲ監視セシメントスルカ  
 誤リナク往復シ得ルヲ主眼トスルヤ  
 等ヲ先ツ明ニスルヲ要ス

六、小哨並中隊ノ位置及此各位置ニ通スル捷路ニ就テ

陣中要務令ニ此ノ項アルカ爲小哨及中隊ノ位置明瞭ナルニモ拘ハラズ是非其  
 之ヲ指示スルモノアリ概シテ光線法ニ依リ歩哨ヲ配置セル場合ニハ小哨ノ位  
 置及之ニ通スル捷路ハ特別ノ場合ノ外指示スルヲ要セサルヘク又歩哨小哨中  
 隊カ一直線上ニ在ル如キ場合例ヘハ左圖ノ第二歩哨ノ如キハ必スシモ中隊ノ



第三節 歩哨ノ配置法



位置及之ニ通スル捷路ハ指示スルノ必要ナカルヘシ之ニ反シ第四步哨ノ如ク歩哨小哨及ヒ中隊ノ三哨所カ三角形ヲナシ歩哨ノ位置ヨリ小哨ニ至ル距離ト中隊ニ至ル距離ト大差ナキ場合ニ於テハ是非中隊ノ位置及之ニ通スル捷路ヲ指示シ尙火急ノ場合ニ於ケル處置ヲモ示シ置クヲ要ス

### 六 特別守則ノ授與法ニ就テ

小哨長ハ特別守則授與ノ爲歩哨ノ位置ニ臨ムヤ先ツ歩哨掛又ハ下士哨長ノ報告ヲ聴取シ附近ノ地形ヲ詳細ニ觀察シ歩哨ノ位置姿勢ヲ定ム次テ歩哨掛又ハ下士哨長以下歩哨ノ全員ヲ適當ナル地點ニ集メ特別守則ヲ與ヘ其了解セルヤ否ヤヲ複唱セシメテ檢シ尙ホ要スレハ特別ノ設備等所要ノ指示ヲ與フルモノトス

### 一、歩哨ノ位置姿勢ニ就テ

歩哨ノ位置姿勢ハ小哨長之ヲ定ムルモノトス勿論小哨長ノ到着ニ先チ下士哨長及歩哨掛等ハ全力ヲ盡シ地形ヲ偵察研究シ適切ニ其位置ヲ撰定シアルヘシト雖苟クモ歩哨ヲ配置スルニハ之ヲ其位置ニ配置スル特別ノ目的ナカルヘカラス即チ小哨長ハ此ノ特別目的ニ適合スル如ク其位置姿勢ヲ決定セサルヘカ

ラス

### 二、特別守則内容事項ノ排列順序ニ就テ

特別守則ヲ授與スニル方リ兵卒ノ記憶ヲ容易ナラシムル爲其含有事項ヲ適宜ノ順序ニ排列シ常ニ其順序ニ從ヒ指示スルヲ可トス而シテ其排列順序ニ關シテハ種々説ヲ爲スモノアリト雖特別ノ理由モ根據モナク要ハ兵卒ノ記憶ヲ容易ナラシムレハ足ルヲ以テ寧ろ陣中要務令記載ノ順序ニ依ルヲ適當トセン

### 三、地區地物ノ名稱ノ指示ニ就テ

特別守則中地區地物ノ名稱ノ指示ハ小哨長ノ大ニ注意ヲ要スル所ニシテ其記憶ハ亦兵卒ノ頗ル難事トスル所殊ニ外國ノ地名ニ於テ然リ

小哨長ノ注意ヲ要スル所以ハ前方ノ諸地點中必要ノモノノミヲ示シ且其數ヲ成ル可ク少數トシ兵卒ノ記憶ヲ容易ニシ而カモ其任務遂行ニ支障ナキ如クスルニ在リ此ノ點ハ小哨長ノ注意練磨ヲ要スル所ナリ

次ニ兵卒ニ對シテハ平素ハ却テ諸外國ノ地名ニ擬シタル名稱ニ依リ地區地物



ヲ指示シ之カ暗誦法ニ熟セシメ實戰等ニ在リテハ兵卒ノ記憶シ易キ名稱ヲ假リニ附與シテ指示スルヲ可トス例ヘハ中隊長以下中隊附將校下士ノ氏名ヲ附シ或ハ形狀相似ノ術成地附近ノ地名ヲ用フルカ如クセハ有利ナリ

#### 四、特別ノ設備等所要ノ指示ニ就テ

歩哨ノ身邊ヲ附近ノ地物ト同色ノ物件ヲ以テ掩フカ如キ或ハ歩哨ノ射擊ヲ容易ニスル爲依托物ヲ構築スルカ如キ特別ノ設備ヲ要スルトキハ小哨長ハ之ヲ下士哨長又ハ歩哨掛ニ指示スル要ス尙ホ下士哨ニ在リテハ交代時間ヲ要シ且ツ小哨及中隊等トノ連絡法ヲ規定スルヲ要ス

左右ノ連絡ハ不備ナカラ昨今稍注意ヲ増シタルモ却テ前後ノ連絡ニ關シ全ク注意ヲ拂ハレサルノ弊ヲ時々認ムルハ遺憾ナリ特ニ注意ヲ促ス所以ナリ

#### 五、特別守則授與間ノ注意

特別守則授與間ノ注意ハ敵ノ視聽ニ觸レサルニ在リ之カ爲同伴セラレタル傳令其他ノモノハ歩哨ノ位置附近ニ達スルヤ歩哨長ノ指示ニ依リ或ハ獨斷ヲ以テ適當ノ位置ニ蔭蔽停止シ紊リニ高姿勢ヲ取り或ハ談笑スルカ如キコトアル

ヘカラス

又歩哨長ハ歩哨掛以下ヲ集ムルニ際シ特ニ曝露セサルコトニ注意シ尙必要以外ノ高聲ヲ發セサルコトニ注意スルヲ要ス

#### 七、特別守則授與ノ爲歩哨線ノ巡回順序

及巡回中ノ動作ニ就テ

特別守則授與ノ爲小哨長カ小哨線ヲ巡ルニハ通常重要ナル地點ヨリスルヲ原則トス然レトモ特別輕重ヲ附シ難キトキハ左右ノ一翼ヨリ始ムルヲ便トス而シテ其動作ハ勉メテ敏活靜肅ニシテ敵ノ視聽ヲ惹クコトナク且ツ成ルヘク其時間ヲ短縮スルコトニ注意シ而カモ此ノ間ヲ利用シテ歩哨線内外ノ地形ヲ偵察暗識シ歩哨ノ配置並特別步則ヲ適切ナラシムルコトニ着眼スルヲ要ス之カ爲

一、小哨長ハ敏活ナル步度ヲ取り開濶地ニ於テハ駈歩又ハ疾驅ヲ以テ若干距離毎ニ躍進スルヲ要ス

二、小哨長ハ時々停止シ(躍進スル場合ニハ其停止間ヲ利用シ)其附近ノ地形ヲ詳



細ニ觀察スルヲ要ス

三、小哨長ハ傳令其ノ他同伴者ノ隊形ニ注意シ要スレハ小哨長ノ後方適當ノ距離ヲ間、シ一二名宛急速ノ步度ヲ以テ躍進セシムルヲ要ス

四、小哨長ハ此ノ際ノ地形偵察ニ於テ特ニ隣接兩步哨間ノ警戒法及連絡ノ爲取ルヘキ通路ニ就テ深甚ノ注意ヲ拂フヲ要ス

五、小哨長ハ隣接兩步哨ノ連絡ヲ適確ナラシムル爲要スレハ甲步哨ノ位置ヨリ乙步哨ノ位置ニ轉移スルニ際シ甲步哨ニ屬スル兵卒一名ヲ乙步哨ノ位置ニ同行シ此ノ兵卒ニ乙步哨ノ位置及步哨間ノ通路ヲ承知セシメタル後乙步哨ノ兵卒一名ヲ之ト同伴セシメ甲步哨ノ位置ニ歸還セシメ乙步哨ノ兵卒ハ甲步哨ノ位置ニ到着シタル後單獨ニテ復歸セシムル如クスルヲ可トス、

### 其三 導線法ニ依ル方法

#### 一 項目

- 一、步哨配置ノ爲メ命令下達
- 二、小哨ノ位置へ殘留スルモノニ所要ノ任務ヲ授ク

### 三、步哨配置ノ爲出發

#### 四、步哨配置後小哨位置へ歸還

#### 二 步哨配置ノ爲出發前ノ處置動作

小哨長カ步哨配置ノ爲出發スルニ方リ其前ニナスヘキ事項ハ大別シテ左ノ二件トナス曰ク

步哨配置ノ爲命令ノ下達

小哨位置ノ殘留者へ所要ノ任務ノ授與

而シテ此ノ命令ノ内容及下達法殘留者ニ與フル任務ノ種類並其授與法等ハ光線法ニ依ル場合ト全ク同一ニシテ唯命令ノ内容中光線法ニ於テハ各步哨毎ニ步哨掛又ハ下士哨長ヲ指名シ之ニ屬スヘキ兵卒其ノ到ルヘキ守地及捷路ヲ指定セルモ此ノ場合ニハ步哨要員ヲ區分スルノミニシテ步哨ノ種類及其到ルヘキ守地捷路等ノ指定ヲナサ、ルモノトス

#### 三 步哨配置法

小哨長ハ步哨要員ヲ區分シ且小哨位置ニ殘留スルモノニ所要ノ任務ヲ與フルヤ



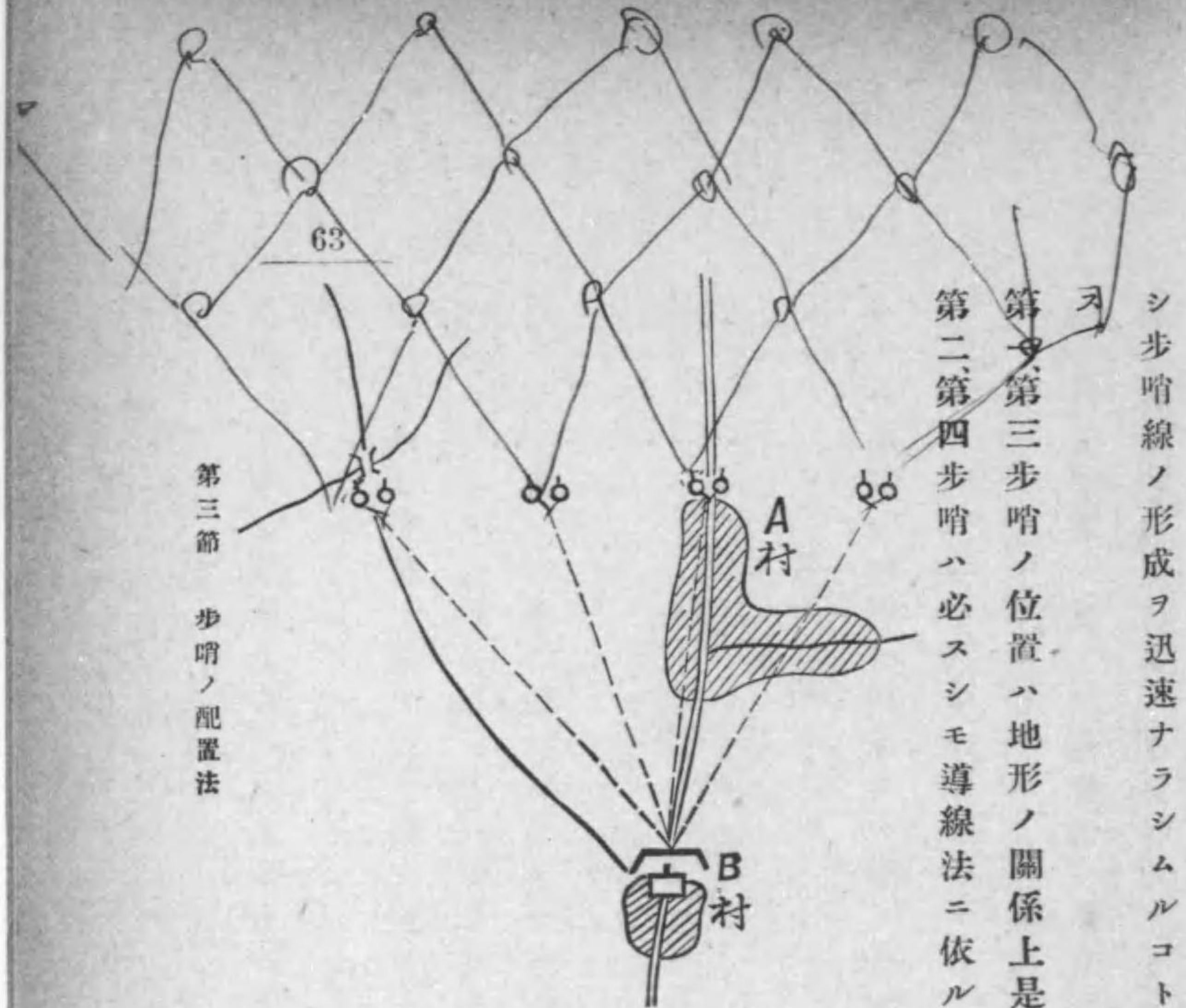
直チニ步哨要員及必要ノ傳令並ニ巡察ノ長トスヘキモノヲ率井步哨配置ノ爲出發ス

而シテ步哨配置ノ順序ハ重要ナル地點ヨリ先ニスヘシト雖別ニ甲乙ナキトキハ一翼ヨリスルヲ便トス又先ツ步哨ノ全部或ハ一部ヲ配置シ然ル後特別守則ヲ與フヘキヤ或ハ一個ノ步哨ヲ配置スル毎ニ特別守則ヲ與フヘキヤハ一ニ其時ノ利便ニ從フ

特別守則及其授與法等ニ就テハ全ク光線法ニ依ル場合ト同様ナリ但シ此ノ場合ニハ小哨ノ位置及之ニ通スル捷路ヲ適確ニ示スヲ緊要トス而シテ多數ノ兵員ヲ同行スルヲ以テ特ニ靜肅ヲ維持シ地形ヲ利用シ步哨配置間敵ノ視聽ヲ惹カサルコト及此ノ場合ノ步哨ノ位置ハ道路河川又ハ地類界ノ凸角等後ニ至リ誤リナク發見シ得ル位置ヲ選フ事等ハ重要ナル注意事項トス

其四 導線法ニ光線法ヲ併用スル一例

光線法ハ導線法ニ比シ便利ナル步哨ノ配置法ナルコトハ本節其一ニ於テ研究セル處ナリ即チ情況導線法ニ依ルヲ要スル場合ニ在リテモ成ルヘク光線法ヲ併用



第三節 步哨ノ配置法

シ步哨線ノ形成ヲ迅速ナラシムルコトハ賢キ方法トス今左ニ其一例ヲ示サント

第一 第三步哨ノ位置ハ地形ノ關係上是非共導線法ニ依ラサルヘカラス之ニ反シ第二 第四步哨ハ必スシモ導線法ニ依ルヲ要セス尙ホ第一步哨ハ現地ニ臨マサル

ハ何レノ附近ニ配置スルヲ適當スルヤ不明ニシテ第三步哨ハ其要否現地ヲ踏査セサレハ明カナラサル情況トス、

此ノ場合ニ於テハ小哨長ハ第四步哨ハ小哨ノ位置ヨリ光線法ノ要領ニ依リ其守地ニ至ラシメ爾餘ノ步哨要員ヲ引率シテA—村B村道ヲ前進シA村内ノ丁字路ニ於テ第二第三步哨委員ヲA村北端ニ至ラシメ小哨長ハ第一步哨委員及所要ノ傳令ヲ伴ヒ第一步哨ヲ配置ス次



テ第二步哨ノ位羅ニ至リ之ヲ配置シ其位置ヨリ第三步哨要員ヲ伴ヒ豫定第三步哨守地ヲ經テ第四步哨ノ位置ニ至ル而シテ第三步哨ヲ設置スル必要アレハ勿論第四步哨ノ位置ニ至ル迄ノ間ニ於テ配置スルモノトス、右ノ如キ要領ニ依ル時ハ第一、第二、第四步哨ハ殆ント同時ニ其守地ニ就キ得ルヲ以テ步哨線ノ形成一翼ヨリ遂次ニ配置スル導線法ニ比シ著シク迅速ナルヲ得ヘシ、

#### 第四節 步哨配置後ノ處置動作

##### 其一 項目

- 一 小哨長不在間ノ出來事ニ關シ代理者ヨリ報告ヲ受領ス
- 二 銃前哨ニ特別守則ヲ授與ス
- 三 口頭ヲ以テ取り敢ヘス步哨配置完了ノ報告ヲ中隊長ニ呈ス
- 四 任務ヲ與ヘ置キシ残留者ヨリ其任務ニ關スル復命ヲ受ク
- 五 各勤務員ヲ區分シ又銃ヲ爲サシム

- 六 斥候ヲ派遣ス此ノ際要スレハ步哨配置間ノ警戒斥候ヲ招還ス
  - 七 抗戰準備ノ爲所要ノ工事ヲナサシム
  - 八 要圖ヲ調製シ中隊長ニ配置ノ概要ヲ報告シ且左右ノ隣接小哨ト連絡ス
  - 九 步哨線内外ヲ踏査シ其地形ヲ偵察暗識ス
  - 十 退却路ノ研究ヲナス
  - 十一 中隊長ノ臨場ヲ迎ヘ所要ノ報告ヲナス
  - 十二 工事完了セハ之ヲ點檢ス
  - 十三 休憩法ヲ定メ休憩ニ就カシム此ノ際戰備ノ度ニ關シ必要ノ規定ヲナス
  - 十四 敵襲ニ際スル行動ヲ豫習ス
- 以上ノ外步哨ノ交代斥候巡察ノ使用法部下ノ給養法等ノコトアルモ之等ハ小哨ノ警戒配置完了迄ノ處置動作ニ直接關係ナク寧ロ警戒配置完了後ノコトニ屬スルヲ以テ節ヲ更メ後ニ研究セントス

##### 其二 小哨長小哨ノ位置ニ歸還直後ノ處置動作

小哨長ハ步哨ニ特別守則ヲ授與シ其配置ヲ完了セハ成ルヘク速カニ小哨ノ位置



ニ歸還スルモノトス

小哨長小哨ノ位置ニ歸還スルヤ小哨長不在間ノ代理者ハ直チニ駈ケ來リ小哨長ヲ迎ヘ其不在中ニ起リシ諸件ニ就キテ報告スルナラン

小哨長ハ右ノ報告ヲ聽取シ終ルヤ直チニ銃前哨ノ步哨掛ヲ呼ヒ其交代兵ト共ニ銃前哨ノ位置ニ到リ特別守則ヲ與フ銃前哨ノ特別守則及其授與法ハ共ニ一般步哨ニ於ケルト同要領ナリト雖其守則ニ就テハ銃前哨獨特ノ任務及其位置ノ關係ヲ顧慮シ適切ニ之ヲ指示スルヲ要ス

次テ小哨長ハ其傳令ヲシテ口頭ヲ以テ中隊長ニ左記要旨ノ報告ヲ呈セシム之レ筆記報告ヲ作爲スル爲ニハ猶ホ若干ノ時間ヲ要スルノミナラス他ニ尙ホ處置ヲ急クヘキ事項アリ而カモ步哨配置ノ完了ヲ知ルハ後方部隊ノ爲緊要ナルコトナレハナリ

#### 第何小哨報告

第何小哨ハ午後何時何十分步哨配置終了詳細ハ後刻報告ス

敵情ニ就テハ云々

而シテ步哨線ニ向ヒ小哨長カ出發スルニ方リ任務ヲ與ヘ置キシモノ等ハ小哨長ノ歸還ヲ見ルヤ先ヲ爭フテ其結果ヲ報告セントスルナラン即チ小哨長ハ先ツ必要ナルモノヨリ逐次ニ引見シ其報告ヲ受クルヲ要ス而シテ急ニ必要ナク後刻承知スレハ可ナルモノハ後刻報告ヲ受クヘキ旨ヲ指示シ着々必要ノ處置ヲナスヲ要ス

#### 其三 各勤務員ノ區分及又銃ニ就テ

小哨ノ勤務員ヲ如何ニ區分スヘキヤハ其時ノ情況及步哨ノ人員ニ依リ一定シ得サルモ大要式ノ如ク區分スルヲ通常トス

- 一 斥候要員
- 二 巡察要員
- 三 傳令
- 四 步哨ノ交代兵
- 五 其他

然レトモ步哨勤務ニ於テ十分ノ人員ヲ有スルコト稀ナリ場合ニ依リテハ與ヘラ



レタル正面ヲ監視スル爲歩哨サヘモ十分ニ配置シ得サルコトアリ此ノ場合以上ノ區分ヲナシ得ストカ或ハ任務過重ニシテ到底警戒シ得ストカ悲觀的不平ヲ鳴ラスハ軍人ノ本領ヲ知ラサルモノナリ吾人ハ常ニ寡少不足ノ兵員ヲ以テ完全ニ警戒ノ任務ヲ連成スルコトニ就テ努力研究セサルヘカラス若シ以上ノ區分ヲナシ得サルトキハ歩哨ノ交代兵ヲ以テ巡察ニ充ツルモ可ナリ斥候ニ使用スルモ可ナリ要スルニ不眠不休不斷ノ努力ヲ以テ任務ヲ達成セサルヘカラス即チ陣中要務令小哨ノ部ノ初項第百六十三ニ小哨長以下ヲ激勵セル所以ナリ

一 斥候ノ區分ニ就テ

斥候ノ區分ニ就テ顧慮スヘキ件ハ

斥候ノ兵力ヲ幾何トスヘキヤ

幾組ノ斥候ヲ編成スヘキヤ

之ナリ而シテ之カ決定ニ方リテハ先ツ小哨ニ於ケル斥候派遣ノ目的ヲ明ニスルヲ要ス抑々小哨ヨリ斥候ヲ派遣スル主要ナル目的ハ歩哨線前ノ地域ヲ搜索シ敵ノ近接ヲ察知シ以テ不意ノ敵襲ヲ避ケ小哨ノ戰備ヲ完フセントスルニ在

リ即チ此ノ目的ノ爲斥候ヲ行動セシムヘキ範圍換言スレハ歩哨線前幾何ノ距離ヲ搜索セシムヘキヤハ地形及敵情ニ依リ自ラ決定セラルヘク從テ斥候ノ兵力モ亦大體ノ標準ヲ定メ得ヘシ

次ニ此ノ斥候ノ行動徑路ヲ一回線ト假定セハ之ヲ一週スルニ要スル概略ノ時間ヲ知り得ヘク又此ノ一回線上ニ同時ニ行動セシムヘキ斥候ノ數ハ時ノ敵情ニ依リ概略決定シ得ヘシ即チ一回線ニ配當スヘキ斥候ノ組數ハ此等ノ決定事項ニ休憩ノ時間ヲ顧慮シ割出スコトヲ得ヘシ

而シテ一回線ノ數ヲ幾何トスヘキヤハ主トシテ警戒正面ノ幅員及地形特ニ交通網ノ狀態ニ依リ決定セラルヘキモノトス

以上研究ノ結果決定セル斥候ノ兵力及組數ハ小哨ノ兵力ニ依リ區分ノ實行ヲ左右セラル

即チ斥候ノ區分ヲ爲スニ方リテハ斥候派遣ノ目的ニ稽ヘ敵情地形ヲ適切ニ判斷シ尙小哨ノ兵力ヲ斟酌シ搜索ノ範圍及密度ヲ決定シ以テ斥候ノ兵力及組數ヲ判定スルノ基礎トナスヲ要ス

基礎  
基礎



## 二、巡察ノ區分ニ就テ

巡察ノ區分ニ就テモ亦顧慮スヘキ問題ハ其兵力及組數ノ決定ナリ而シテ巡察一般ノ目的即チ

步哨線内ヲ監視シ

步哨ヲ監視シ

步哨ヲ配置セサル土地ヲ搜索シ

比隣哨所ト連絡ヲ通スル等

ノ爲ニ使用スル巡察ノ兵力ハ時ノ敵情地形我步哨配置ノ状態及小哨ノ兵力等ヲ適切ニ研究判斷スルコトニ依リ決定シ得ヘシ  
之ニ反シ特別目的即チ

步哨ノ援助

步哨線ヲ進入セル敵斥候ノ驅逐等

ノ爲ニ使用スヘキ巡察ノ兵力ハ豫メ之レヲ決定シ置クコト困難ナリ然レトモ此ノ場合ニハ前者即チ一般目的ノ爲區分セル巡察數個ヲ合シテ使用スレハ可

ナリ故ニ巡察ノ兵力ハ一般目的ヲ達スルニ支障ナキ如ク決定シ置ケハ可ナリ  
次ニ其組數ヲ幾何トスヘキヤハ直接小哨ノ兵力ニ關スト雖兵力之ヲ許セハ常  
ニ一組ノ巡察ヲ步哨線附近ニ行動セシメ且ツ其勤務ト休憩トノ比ヲ適當ナラ  
シムル如ク三組以上ヲ設クルヲ可トス

## 三、傳令ノ區分ニ就テ

前哨勤務ニ於テハ各哨所及哨兵間ノ通信連絡ヲ確實敏活ナラシムルコトハ特  
ニ緊要トス故ニ小哨長ハ成ルヘク若干ノ傳令ヲ其身邊ニ準備シ置クヲ可トス  
而シテ此ノ傳令ニ使用スヘキモノハ一般ノ傳令勤務ニ必要ナル諸性能ヲ具備  
スル外小哨附近ノ地形ニ精通シ中隊及比隣哨所ノ位置並各步哨ノ守地ヲ熟知  
セルモノヲ可トス之カ爲最初ヨリ傳令トシテ小哨長ニ隨從セシモノヲ用フル  
ヲ通常トス

其人員ハ可及的之ヲ節約シ必要ノ最下限ニ止ムルヲ要ス

四、步哨ノ交代兵ニ就テ步哨ノ交代兵ハ殊更之ヲ區分スル迄モナク各步哨ノ位  
置ヨリ歸還シ來ルヘシ唯注意スヘキハ晝間步哨ヲ配置セル場合ニハ夜間ニ至



リ歩哨ヲ増加スルノ必要生スルコトアリ此ノ場合ニハ豫メ其要員ヲ區分シ置クコト忘レサラル如クスルヲ要ス

五、其他ニ就テ

從來雜役ト稱シタルモノナリ名稱ハ如何ニ付スルモ可ナリ又全ク名稱ヲ付セサルモ可ナリ要ハ歩哨斥候巡察傳令等ノ勤務ヲ有セサルモノ換言スレハ豫備ノ人員トス此ノ豫備ノ人員ハ必スシモ區分セサルヘカラサルニ非ラス歩哨斥候等ノ勤務員ヲ區分シ尙餘裕アルトキハ之ヲ存シ置キ必要ニ臨ミ斥候巡察傳令等ニ使用シ或ハ糧秣ノ受領飲料水ノ補充等ノ業務ニ臨時服セシムルヲ可トス

以上ノ如ク勤務員ヲ區分スルヤ小哨長ハ勤務ノ交代敵襲等ニ際シ集合スルニ混雜ヲ來サ、ル如ク又銃ヲナサシム其又銃ノ要領ハ各勤務員毎ニ集團セシメ且ツ歩哨ノ如キハ同時ニ交代スルモノヲ組合セ尙適當ノ標示ヲ付シ左記要圖ノ如クスルヲ有利トス

次ニ又銃ノ方向ヲ敵方ニ面シ直角ニスヘキヤ或ハ露營ニ於ケル如ク敵方ニ側面

直角ニシ

ヲ向クヘキヤハ各利害アリ歩哨ノ位置ノ状態ニ依リ適宜決定スルヲ要ス他ニ理由ナケレハ正面ト直角ニ撰定スルヲ通常トス



備考一、ハ目下不在ヲ示ス

二、歩哨交代兵ニ番立五人ハ二複哨分四

名ト銃前哨一名トス三番立モ同様

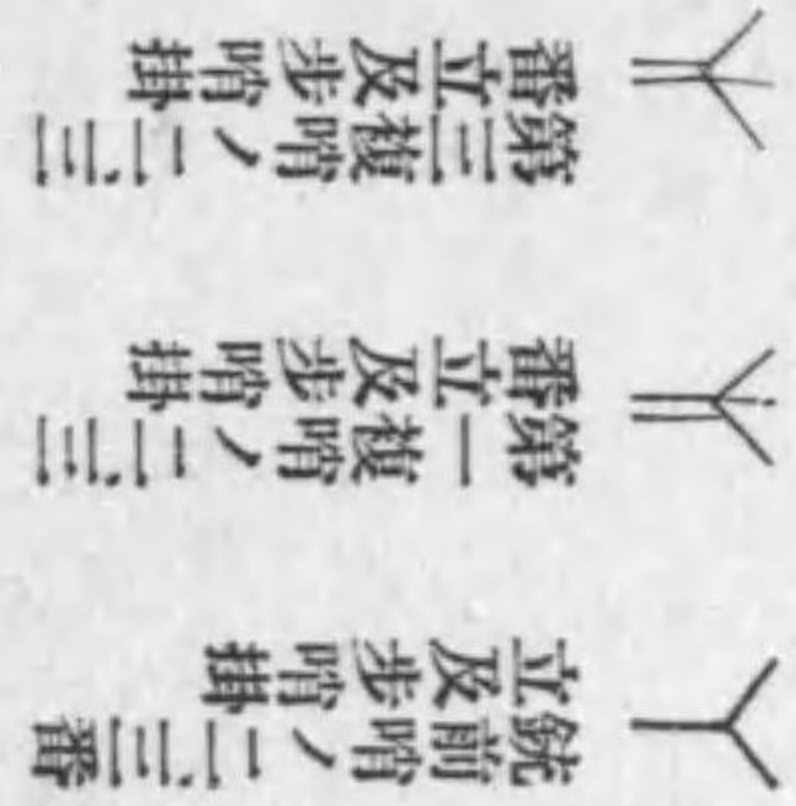
但シ歩哨掛及交代兵ノ又銃法ハ各歩哨毎ニ集團又銃セシムルモ可ナリ殊ニ將來ニ於テ複哨ニ代フルニ三人哨四人哨ヲ用フル機會増加スルニ從ヒ益々各歩哨毎ニ集團又銃セシムルヲ有利トスルニ至ルヘシ

複哨二組銃前哨一組ノ場合

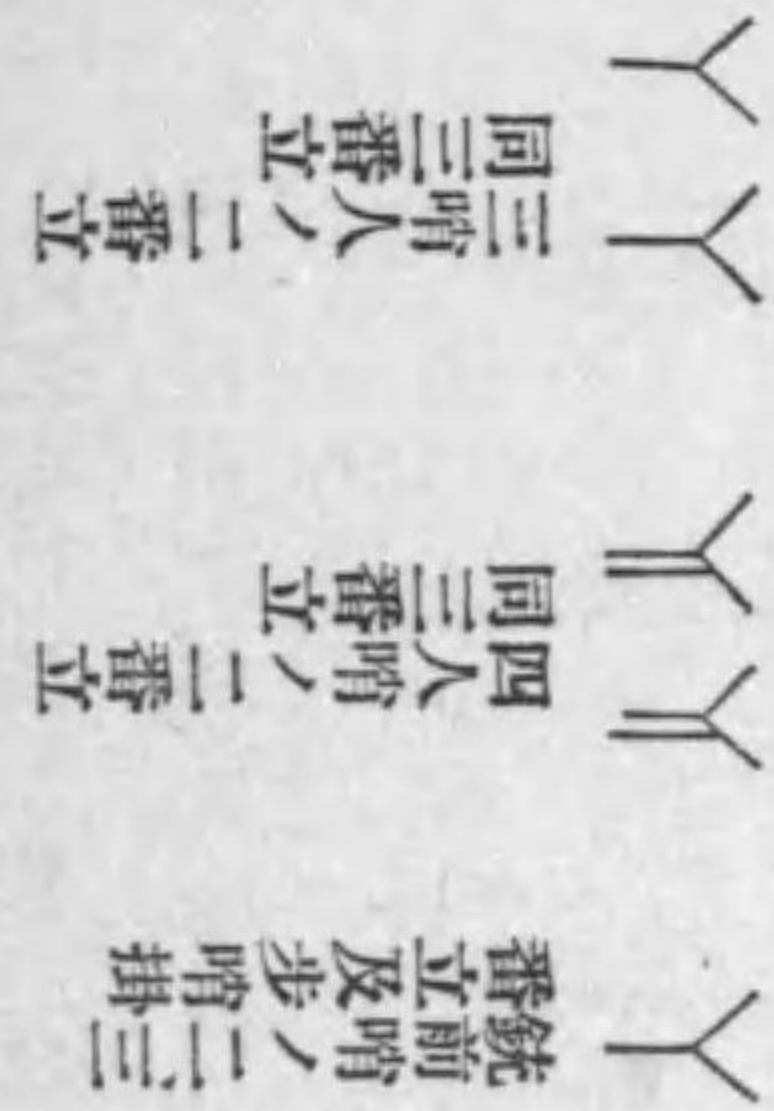
第四節 歩哨配置後ノ處動作



但シ複哨ノ番號ヲ第一、第三ト假リニ定ム



三人哨一組四人哨一組及銃前哨(單哨)一組ノ場合



但三人哨四人哨ノ歩哨掛ノ銃ハ其歩哨ノ又銃中適宜ノモノニ寄セ掛ク又歩

哨交代ニ際シテハ其交代歸還セル歩哨ハ上番セシ歩哨ノ又銃シアリシ跡

ニ又銃スルモノトス

小哨ノ位置ニ於ケル又銃ノ要領ハ以上ノ如シト雖歩哨交代兵ノ又銃ハ其複哨若クハ單哨ナル場合ニ於テハ若干ノ混雜ヲ免レス故ニ成シ得レハ銃架ヲ構築シ之ニ依托スルヲ便トス

然レトモ銃架ヲ構築スルニハ若干ノ人員時間材料ヲ要シ且其幅員ヲ小ニスレハ集合ニ際シ却テ混雜ヲ増大スヘク其幅員ヲ大ニスレハ構築後ノ除去移轉困難ナルヲ以テ集合後ニ於ケル運動ヲ妨碍スルニ至ルヘシ故ニ之カ構築ニ方リテハ必要ノ最小限即チ歩哨ノ交代兵及ビ傳令等ノ用ニ供シ得ル程度ニ止ムルヲ可トス即チ小哨ノ又銃ニハ銃架ヲモ併用スルヲ可トス然レトモ銃架ニ小哨全員ノ銃ヲ依托セントスルハ一考ヲ要ス殊ニ歩哨ノ兵員大ナル場合ニ於テ然リ

小哨ノ又銃法ハ以上研究スル處ノ如シト雖歩哨長ハ能ク時ノ情況ヲ判斷シ果シテ又銃スルヲ可トスルヤ或ハ各人銃ヲ手ニシ定位ニ腰ヲ卸ロシテ休憩セシムル

第四節 歩哨配置後ノ處動作



ヲ可トスルヤヲ決定スルヲ要ス戰闘準備前哨ニ於テハ屢々後者ヲ利トスルコトアリ

#### 其四 斥候ノ派遣ニ就テ

歩哨長ハ勤務員ヲ區分スルヤ直チニ斥候ヲ派遣スルヲ要ス之レ歩哨ノ警戒ハ歩哨線ノ形成ト歩哨線前ノ搜索トニ依リ其目的ヲ達シ得ルモノナレハナリ殊ニ日没直前ニ小哨ヲ配置セルカ如キ場合ニハ成ルヘク早ク此ノ斥候ヲ派遣シ歩哨線前ノ地形ヲ暗識セシムルノ必要大ナリトス而シテ歩哨配置間ノ警戒斥候ニ歸還ノ時刻ヲ豫メ指示シアラサル場合ニハ成シ得レハ此ノ斥候ニヨリ招還セシムルヲ便トス

#### 其五 小哨ノ工事ニ就テ

小哨長ハ歩哨ヲ配置シ斥候ヲ派遣シ敵ノ近接ヲ警ムルノミナラス尙工事ニ依リ其抵抗力ヲ増大シ微弱ナル敵ノ攻撃ハ之ヲ擊退シ優勢ナル敵ノ攻撃ニ對シテモ亦要スレハ一時之ヲ抗拒シ後方部隊ニ戰闘準備ノ時間ヲ與ヘサルヘカラス故ニ小哨長ハ歩哨線ノ形成ヲ終ルヤ直チニ所要ノ工事ニ着手スルヲ要ス

之カ爲小哨長ハ適當ノ時機ニ於テ工事ニ爲必要ナル偵察ヲナスヲ要ス此ノ時機ハ小哨配置着手ノ時刻ニ依リ變化ス例ヘハ日没迄其時間少キ時ハ歩哨ニ特別守則ヲ與フル爲歩哨線ニ向ヒ出發スル前ニ既ニ偵察シ置クヲ可トスルコトモアルヘク又時間ニ餘裕アル場合ニハ工事ニ着手スル直前ニ於テナスコトモアルヘシ其他特別守則授與後歩哨ノ位置ニ歸還スルヤ直チニ偵察スルコトモアルヘシ要ハ成ルヘク偵察ノ爲費ス時間ヲ減少シ小哨全般ノ配置ヲ迅速ニ完了スルコトニ着眼スルヲ要ス

而シテ小哨ノ工事トハ其ノ諸設備一般ヲ總稱ス

- (一) 敵ノ近接察知ノ設備
- (二) 敵ノ近接妨碍ノ設備
- (三) 我カ火力發揚ノ設備
- (四) 交通及通信ノ設備

以下右各項ニ就キ少シク研究セントス

#### 一、敵ノ近接ヲ察知スル爲ノ設備

第四節 歩哨配置後ノ處動作



敵ノ近接ヲ察知スル手段ノ主要ナルモノハ歩哨ノ配置及斥候ノ使用ナリトス然レトモ其補助トシテ晝間ニ在リテハ展望臺ヲ構築シ夜間ニ在リテハ鐵線網繩等ヲ張り敵兵前進シ之ニ觸ル、時ハ音響ヲ發スル如キ設備ヲナス等ハ其價値少ナカラス

## 二、敵ノ近接ヲ妨碍スル爲ノ設備

敵ノ近接ヲ妨碍スル爲單簡ナル阻絶ヲ施シ輕易ナル障碍物ヲ設クルハ極メテ緊要ノ事トス

而シテ阻絶ノ爲ニハ村落密林等ヲ通スル道路ノ出入口及橋梁等ハ價値アル地點ナリ其他凸道凹道山復道並ニ急斜面ニ存スル坂路等モ亦阻絶シテ利アリ其方法ハ車輛ニ重量物ヲ積載シテ所望ノ地點ニ搬送シ其車輪ヲ脱却シ或ハ木材石材等ヲ堆積シ之ヲ固定スヘシ又道路橋梁ニ直交シ不同ノ高サニ鐵線ヲ數條張ルトキハ單簡ニシテ有利ノ阻絶タルヲ得ヘシ而シテ阻絶ヲ設ケタル際注意スヘキ事項ハ

(一) 我斥候巡察若クハ歩哨交代兵等ノ通路ヲ敵ニ發見セラレ難キ位置ニ設備

スルコト

(二) 阻絶ノ位置ハ成ルヘク小哨ヨリ火力ヲ及ホシ得ヘキ地點ニ撰定シ之ヲ監視スルコト

之ナリ亦阻絶ヲ準備ニ止メ必要ニ際シ之ヲ實施セントスルカ如キハ多クハ時機ヲ失シ價値ナキモノトス次ニ障碍物ヲ設置スルコトハ縱令其輕易ナルモノト雖容易ノ事ニ非ラス之レ小哨ノ人員僅少ニシテ材料及時間亦甚タ豊富ナラサルヲ以テナリ故ニ歩哨附近ニ存在スル地物ヲ利用シ敵ノ運動ヲ困難ナラシムル如ク設備シ之ヲ以テ満足セサルヘカラサル場合多シ

即チ小哨ノ前面ニ在ル稚桑倭樹ノ類ハ其幹木ヲ折リ枝ハ彼此連結シ竹林及稍大ナル森林ハ其内部ニ鐵線網繩ノ類ヲ張り尙稍大ナル樹枝ヲ切り落シ之ヲ縱横ニ散亂セシムル如クスヘシ又村落等ハ其圍壁ヲ堅固ニシ門戸ヲ閉塞シ其通過ヲ困難ニシ小流アルトキハ適宜ノ地點ニ於テ其流水ヲ塞キ止メ以テ水深ヲ増ス等ノ處置ヲナスヘシ

## 三、我カ火力ヲ發揚スル爲ノ設備

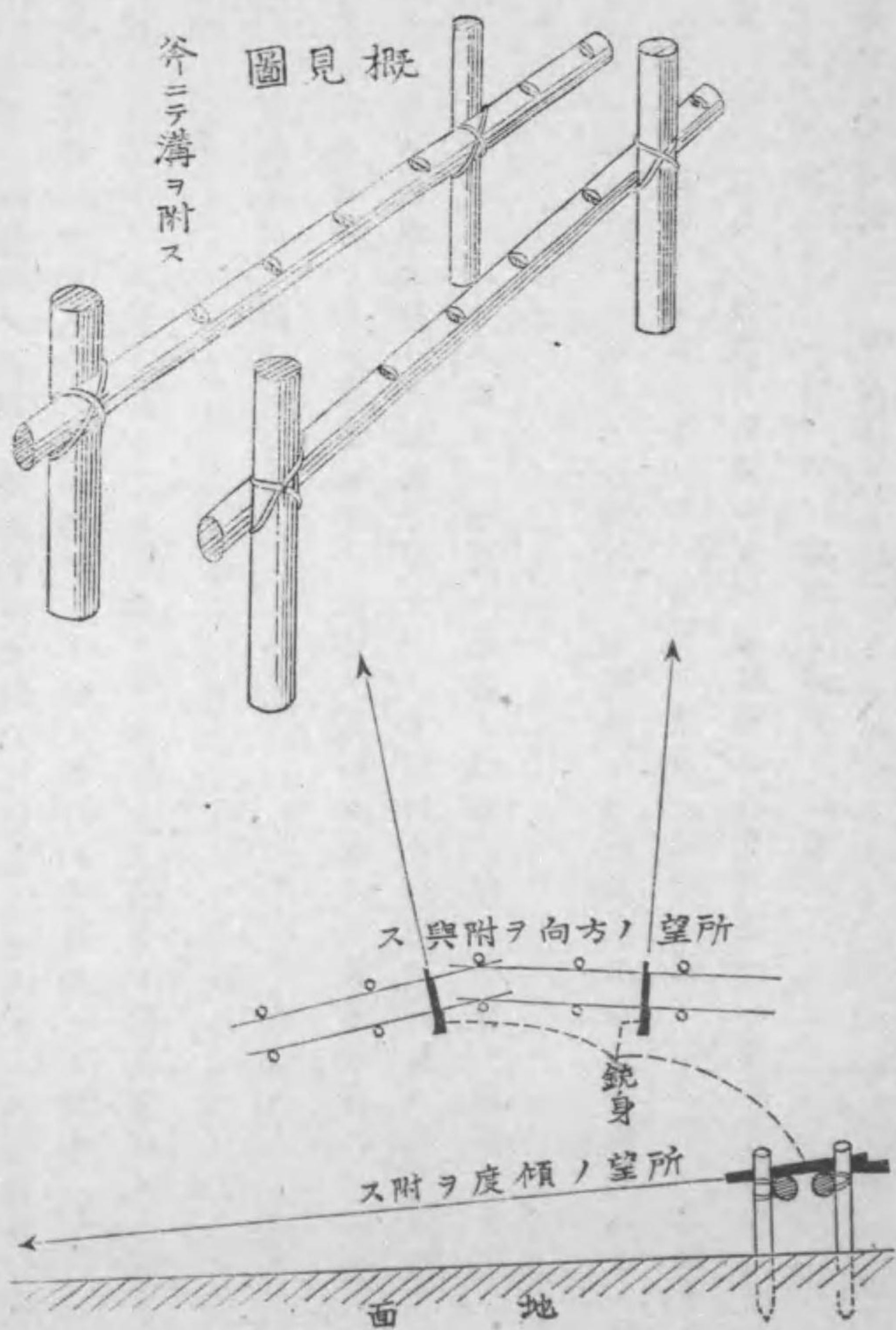
第四節 歩哨配置後ノ處動作



我カ火力ヲ發揚スルコトハ抗戰準備中重要ノ事ナリトス而シテ我カ火力ヲ發揚スル爲ニハ普通射界ノ清掃距離ノ測定及標示並散兵壕ノ構築等ヲ必要トス然レトモ小哨ニ於テ抗戰ヲナスハ多クハ夜間濃霧又ハ蔭蔽地等ニ於テ不意ニ敵襲ヲ受ケシ場合トス故ニ其射界ハ必スシモ大ナルヲ要セス從テ射界ノ清掃距離ノ測定標示等ハ多クハ必要ナラス又主トシテ夜間ノ敵襲ノミヲ豫期スル場合ニ在リテハ散兵壕モ必要ナラス單ニ夜間射擊ノ設備ノミヲナセハ足ル之レ敵カ夜襲シ來ル場合其射彈ハ防者タル我ニ何等ノ損害ヲモ與ヘ得サルヘキヲ以テナリ

而シテ散兵壕ヲ構築セサル夜間射擊ノ設備ハ所望ノ高サニ二個ノ木幹ヲ平行固定シ銃ニ所望ノ傾度ト方向トヲ與フル如クスルニアリ今之ヲ圖示スレハ左ノ如シ

尙小哨ニ在リテハ普通ノ防禦ニ比シ各方面ニ火力ヲ發揚シ得ル如ク經始スルコト必要ナリ從テ其火線兵力ニ比シ長大トナリ易キハ自然ニシテ殆ント避ケ得サル所トス故ニ之カ經始ニ方リテハ適切ニ敵情地形ヲ判斷シ必要ナル方面





ニ必要ナル銃數ヲ排列シ得ル如ク火線長ヲ決定シ要スレハ各方面毎ニ其火線ヲ分割離隔セシメ以テ不必要ナル工事ト勞力トヲ避クルヲ要ス、而シテ工事ノ實施ニ際シテハ緊要ナル方面ヨリ着手シ逐次完成スル如ク指導スルヲ要ス、

#### 四 交通及通信ニ關スル設備

凡ソ前哨勤務ニ於テ交通通信ノ設備ヲ完備シ連絡ヲ敏活確實ナラシムルコトハ其任務達成上極メテ緊要ノ事ニシテ其勤務ノ實施ヲ容易ニシ其警戒ヲ嚴ナラシメ得ルモノトス故ニ小哨長ハ之等ノ設備ニ關シ十分ノ顧慮ヲナサ、ルヘカラス  
交通ニ關シテハ小哨長ハ小哨ヨリ中隊隣接哨所及各歩哨ノ守地ニ通スル在來ノ總テノ道路ヲ偵察シ要スレハ短橋ヲ架設シ生籬ヲ破リ以テ新ニ通路ヲ開キ或ハ必要以外ノ通路ヲ閉塞シ又ハ森林村落内等ヲ通スル通路ニ所要ノ標示ヲナシテ誤解ナカラシムル等ノ處置ヲ講スルヲ要ス  
通信ニ關シ取ルヘキ方法ハ

#### 電話ノ架設

##### 遞傳令ノ配置

##### 視號通信ノ適用

之ナリ而シテ電話ノ使用ノ上級指揮官之ヲ必要ト認メ小哨ノ位置ニ通信所ヲ設ケタル場合ニ限ルヘク又遞傳令ハ展望哨ト小哨長トヲ連絡スル爲或ハ小哨ト中隊トノ通信頻繁ナルトキ之ヲ連絡スル等ノ爲設置スルコトアルモ之ヲ使用スル場合ハ極メテ稀ナリ

獨リ視號通信ニ至リテハ地形通視ヲ許シ且敵ニ認識セラレサル限り晝間ハ旗ニヨリ夜間ハ燈火ヲ利用シ任意ノ時期ト場所トニ於テ單簡ニ而カモ屢々應用セラル

而シテ視號通信中最モ多ク使用セラル、モルハ手旗信號單旗信號及豫メ協定モル約束ニ基ク單簡ナル記號之ナリ就中單簡ナル記號ニ依ル通信ハ應急ノ場合殊ニ通信手ノ數ニ乏シキ小哨内部及小哨ト中隊トノ通信連絡ニ最モ適スルモノトス

尙以上ノ通信設備ノ外各歩哨斥候巡察等ニ照明材料ヲ携帯セシメ敵襲ニ際シ



之カ報告ニ兼テ敵ノ部隊ヲ照明セシムルヲ利トスルコト屢々之アリ  
 即チ小哨ノ工事ハ以上ノ如ク小哨本來ノ任務ニ鑑ミ周密ナル注意ヲ以テ實施シ  
 苟クモ施シテ以テ價値アル事物ハ悉ク之ヲ應ジシ作業ニ要スル時間ト努力トヲ  
 省キ且兵力ニ比シ靱強ナル抗戰ヲナシ得ル如クスルヲ要ス夫ノ散兵壕構築ヲ以  
 テ小哨ノ工事ノ全部ナル如ク考フルモノハ未タ小哨ノ工事ノ何物タルヲ知ラサ  
 ルモノト云フヘシ

小哨長ハ右ノ着眼ニ基キ現地ヲ偵察シ部下ヲ部署シ所要ノ指示ヲ與ヘ作業ニ着  
 手セシム而シテ工事ノ實施ニ關シテハ工事ノ種類毎ニ編成セル作業班ノ各班長  
 ヲシテ指揮監督セシム然レトモ工事完了ノ際ハ小哨長必ス自ラ臨場點檢シ殊ニ  
 射整ニ關スル設備ノ如キハ兵卒ヲ之ニ據ラシメ實用ニ支障ナキヤ否ヤヲ檢スル  
 ヲ要ス

#### 其六 要圖ヲ以テスル報告連絡

小哨長ハ部下小隊ヲシテ工事ニ着手セシムルヤ前述ノ如ク之カ指揮監督ヲ次級  
 者若クハ各作業班長ニ委ネ置キ要圖ヲ調製シ中隊長ニ小哨配置ノ概況ヲ報告シ

併セテ比隣哨所ト連絡ヲナス

但シ比隣哨所トハ既ニ此ノ時迄ニ成シ得レハ連絡ヲ求メ我カ歩哨線ノ兩翼ニ直  
 接連絡スル歩哨ノ位置等ハ承知シアルヲ要ス之カ爲小哨長ハ成シ得レハ中隊ヨ  
 リ小哨ノ位置ニ向ヒ出發スルニ先チ相隣スル小哨長アルトキハ之ト協議シ又歩  
 哨配置ニ際シ特別守則授與ノ爲歩哨線ヲ巡回スルニ方リテハ時ニ之ニ注意シ要  
 スレハ傳令ヲ使用シテ之ト連絡ヲ保持スル如クスルヲ要ス

然ラハ此ノ迄改メテ連絡ヲ取ルノ必要アリヤ曰クを要アリ抑々此ノ時迄ノ連絡  
 ハ互ニ其位置ヲ知り得シニ止マル故ニ此ノ連絡ニ方テ初メテ彼我配備ノ状態ヲ  
 明ニシ前地ノ状態及前地搜索上ニ於ケル計畫ヲ互ニ詳ニシ爾後ノ協同動作ヲ容  
 易ニスルモノトス即チ此ノ着眼ニ基キ要圖ヲ調製シ概ネ中隊長ニ呈スル報告ト  
 同様ノ註記及通信文ヲ記入シ傳令ヲ以テ通報スルヲ要ス

而シテ中隊長ニ呈スヘキ報告ノ通信文ニ記載スヘキ要項及其要圖ニ註記スヘキ  
 事項並之等記載上ノ注意ヲ試ミニ列舉スレハ左ノ如シ

#### 一、通信文ニ記載スヘキ要項

##### 第四節 歩哨配置後ノ處置動作



- (一) 敵情
- (二) 配置終了ノ時刻
- (三) 前地搜索ニ關スル件
- (四) 比隣哨所ト連絡ニ關スル件
- (五) 小哨附近ノ地形ニ關スル件但シ此ノ事ハ成ルヘク要圖ニ註記スルヲ便トス
- (六) 其他小哨長ノ取レル配置警戒上ニ於テ中隊ニ知ラシメ置クヲ要スル件例  
ヘハ小哨ト中隊トノ間ニ新設セル通路或ハ阻絶セル箇所ノ如キ之ナリ
- 二 要圖ニ現ハシ及註記スヘキ件
- (一) 配備ニ就テ
- (1) 歩哨ノ種類及兵力ハ隊標若クハ註記ニ依リ其位置ト共ニ明瞭ニ記載ス
- (2) 晝間ト夜間ト配置ヲ異ニスルトキハ特別ノ符號若クハ註記ニ依リ其區別ヲ明瞭ニス
- (3) 斥候ニ依ル搜索範圍及搜索計畫

- (4) 我歩哨線ニ最モ近接セル左右兩隣小哨ノ歩哨位置
- (5) 所要ノ工事
- (6) 通信連絡ノ爲取リシ重要ナル處置
- (二) 地形ニ關スル説明
- 三 記載上ノ注意
- (一) 通信文記載上ノ注意ニ關シハ陣中要務令ニ詳細ヲ悉クシアリ今重複セス
- (二) 要圖調製上ニ關シテモ亦概要陣中要務令ニ説明シアリト雖其特ニ重要ナル點ヲ擧クレハ
- (1) 成ルヘク大梯尺ニ描寫スルコト
- (2) 墨色ヲ濃厚ナラシメ見解ヲ容易ニスルコト
- (3) 隊標ハ特ニ明瞭ニ記入シ一目配備ヲ了解セシムルコト
- 以上普通ニ遭遇スヘキ場合ヲ想定シ項目ノ列擧ヲ試ミタリ然レトモ元來之等ハ其時ニ應シ適切ニ作爲スヘキモノニシテ若シ如上ノ研究ヲ形式トスルカ如キコ



トアラシカ大ナル過誤ニ陥ルヘシ之ヲ要スルニ其時ノ情況ニヨリ必要ナル事項ヲ漏レナク記載スレハ可ナリ故ニ要スレハ小哨ノ人員井泉ノ有無等内務ニ關スル事項ヲモ併セ記載スルモ毫モ支障ナキナリ

#### 其七 小哨長ノ地形偵察ニ就テ

小哨長ハ部下小隊ノ工事實施中ニ所要ノ報告連絡ヲ終リ尙時間ノ餘裕アルトキハ此ノ間ヲ利用シテ歩哨線内外特ニ小哨ノ位置附近ノ地形ヲ偵察ス  
此ノ偵察ノ目的ハ自己ノ警戒正面内ノ地形ヲ詳細ニ暗識シ不時ノ場合ニ於ケル置處ヲ適切ナラシムルト同時ニ既ニ採レル警戒配備ノ適否ヲ考察シ要スレハ之ヲ修正シ或ハ更ニ必要ノ工事ヲナシテ之ヲ補ハントスルニ在リ故ニ小哨長ハ此ノ目的ニ合スル如ク偵察ノ順序方法ヲ定メ且偵察上ノ着眼ヲ決定スルヲ要ス而シテ此ノ際尙小隊長ハ特ニ注意シテ退路ニ關スル研究ヲナシ置クヲ要ス  
此ノ偵察ノ爲小哨長小哨ノ位置ヲ離ル、ニ際シテモ亦不在中ノ代理者ヲ定メ之ニ偵察ノ爲採ルヘキ經路ヲ示シ一二名ノ傳令ヲ同伴スルヲ要ス

#### 其八 中隊長臨場ノ場合ノ處置

陣中要務令第一百五十八ニ曰ク前哨中隊長ハ成ルヘク速カニ其中隊ノ位置及警戒法ヲ定メ各々其配備ニ就カシメ然ル後現地ヲ偵察シテ云々ト即チ前哨中隊長ハ小哨長ニ任務ヲ與ヘ其任地ニ就カシメタル後中隊ニ於テ所要ノ處置ヲナシ直チニ小哨ノ位置ニ來リ現地ヲ偵察シ小哨長ニ必要ノ指示ヲ與フルモノトス而シテ其時期ハ時ノ情況ニ依リ同シカラサルモ通常小哨ノ工事着手前遲クモ其工事中ニハ臨場スルナラン

即チ小哨長ハ中隊長ヲ迎ヘ先ツ

敵情

地形及

小哨長ノ取リシ或ハ之ヨリ取ラントスル警戒法  
ニ就キ所要ノ報告ヲナシ中隊長ヲシテ現況ヲ明ニセシムルヲ要ス而シテ中隊長小哨内ヲ巡視シ地形偵察ヲナサントスルトキ情況之ヲ許セハ小哨長モ同行スルヲ可トス若シ止ムヲ得サレハ情況ニ明カナル下士ヲ同行セシムルモ可ナリ  
而シテ此ノ際小哨長ノ受クヘキ重要ナル指示ハ

#### 第四節 歩哨配置後ノ處置動作



警戒法ノ修正

敵襲ニ際シ取ルヘキ特別處置ノ規定

特別工事ノ實施

戰備ノ度

給養法

等トス而シテ警戒法ノ修正敵襲ニ際シ取ルヘキ特別處置ノ規定及特別工事ノ實施等ハ中隊長現地偵察ノ結果其必要ヲ認メタル場合初メテ指示セラレヘキモノニシテ即チ之ニ依リ最初ノ命令ヲ補修訂正シ小哨長ノ處置ヲ自己ノ希望ニ沿ハシメ以テ全般ノ配備ヲ地形敵情ニ適合セシメントスルニ在リ故ニ小哨長ハ直チニ其指示ニ從ヒ中隊長ノ意圖ニ合スル如ク訂正實行スルヲ要ス、

戰備ノ度及給養法ニ關シテハ前哨司令官ノ指示ニ基キ中隊長更ニ細部ノ規定ヲナスモノナレハ稀ニ小哨長其任地ニ向ヒ中隊ヲ出發スル際既ニ指示セラレ、コトアリト雖多クハ此ノ時即チ中隊長小哨ノ位置ヘ臨場セシ際ニ示サル、モノトス而シテ小哨長其指示ヲ受クルヤ能ク其精神ヲ了解シ適切ニ之カ實行法ヲ研究

シ確實ニ實施スルヲ要ス

### 其九 休憩法ニ就テ

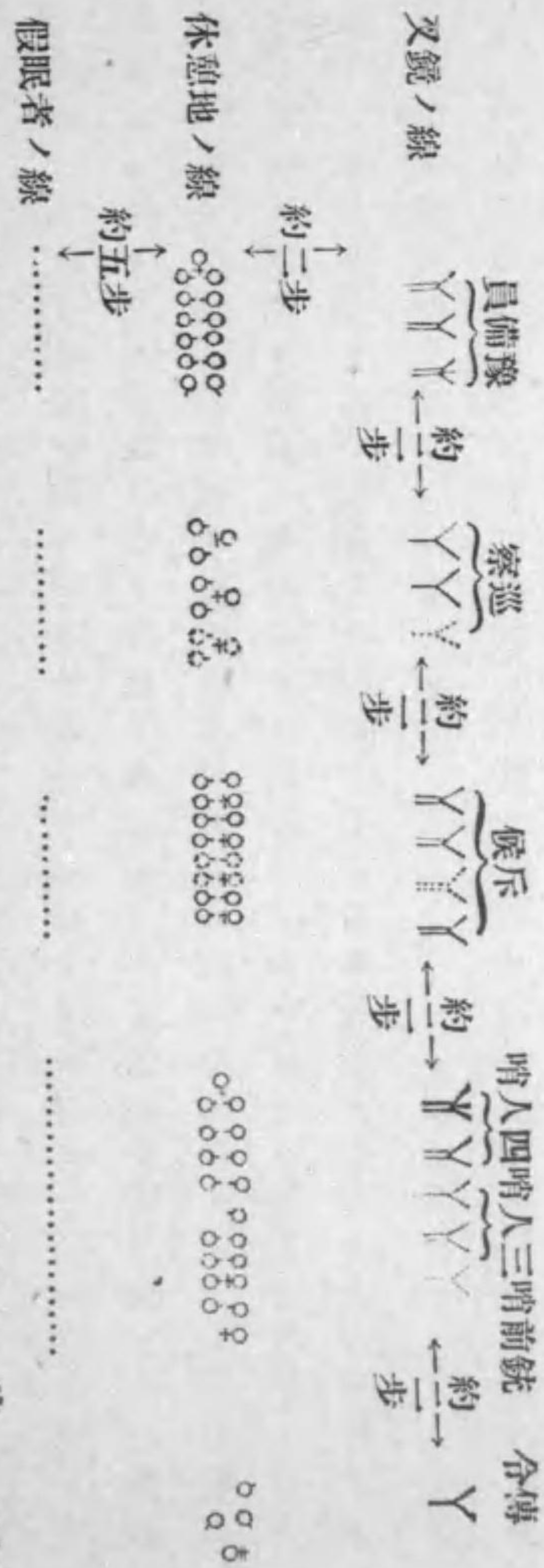
小哨長ハ豫定ノ工事ヲ終ラス下士以下ヲ集合セシメ器具ノ始末ヲナサシメタル後指示セラレタル戰備ノ度ヲ考慮シ休憩法ヲ定メ且必要ノ注意ヲ與ヘ休憩ニ就カシム而シテ休憩法ノ適否ハ直チニ警備ノ緩嚴ニ及ホスモノナレハ小哨長ハ特ニ注意シテ警戒ノ嚴肅ヲ保持スルト同時ニ一面ニ於テハ亦下士以下ヲシテ常ニ十分ノ銳氣ヲ養ハシメ緊張セル精神ヲ以テ各其任務ニ努力セシムル如クスルコト必要ナリ

抑々小哨ノ休憩法ハ完全ナル武裝ヲ整ヘ應急ノ姿勢ヲ保チ又銃線ノ直後ニ僅カニ腰ヲ卸ロシタルノミニテ單純ナル休憩ヲナスヲ原則トス故ニ縱令掩蔽下ニ入り或ハ天幕ノ使用ヲ許サレタルカ如キ場合ニ在リテモ常ニ此ノ精神ヲ忘却セサルコト肝要ナリ然ルニ往々嚴肅ナル戰備ヲ保ツヲ必要トスル情況ニ於テ何等特別ノ制限ヲ與フルコトナク下士以下ヲ解散シ爲ニ又銃線ノ近傍ニ雜然トシテ散々伍々ニ散亂シ此處ノ軒下ニ鼾聲ヲ發シ彼處ノ樹下ニ談笑喫煙スルモノアリ小



哨長ヲ求ムルモ其位置ヲ知ラサルカ如キ小哨ヲ見ルコトアリ嚴ニ戒飾スルヲ要ス

左ニ普通ノ狀況ニ於ケル休憩法ノ要領ヲ圖示セントス然レトモ之固ヨリ一例ニ過キス實施ニ際シテハ須ラク當時ノ狀況ニ適應スル如ク其方法ヲ規定スルヲ要ス



備考一 主○ハ小哨長 十○ハ下士及斥候巡察ノ長歩哨掛等 ○ハ目下勤務不在中ノモノヲ示ス

- 二 背囊ヲ卸サシムルトキハ又銃線ノ直後ニ整頓セシム
- 三 休憩地ノ左右外側ニ在ルモノ及中央附近ノモノ若干名ヲ指名シ前後左右方向ニ注意セシム

尙休憩法規定ニ際シ小哨長ノ顧慮スヘキ事項ハ概ネ左ノ如シ

- 一 背囊ヲ卸サシムヘキヤ否ヤ
- 二 兵卒相互ノ談話ヲ禁シ若クハ制限スヘキヤ否ヤ
- 三 喫煙ニ關シ特別ノ規定ヲ設ケ若クハ之ヲ禁スルノ要ナキヤ否ヤ
- 四 服裝ノ改裝等ハ各自任意ニ實施セシムヘキヤ否ヤ
- 五 飲料水ノ補充用便等ニ關シ特別ノ規定ヲ設クルノ必要ナキヤ否ヤ

等而シテ又小哨長ハ中隊長ヨリ

- 一部ノ假眠ヲ許サレタル場合
- 採暖ノ爲炭火等ノ使用ヲ許サレタル場合及
- 天候氣象ノ關係又ハ情況ニ依リ掩蔽下ノ利用携帯天幕ノ使用及掩蓋ノ構築等ヲ許サレタル場合



ニハ能ク其精神ノ存スル處ヲ明ニシ周到ナル注意ト嚴密ナル監督トヲ以テ之カ實施法ヲ規定シ下士以下ノ休養ヲ十分不平等ナラシムルト同時ニ小哨本來ノ任務タル警戒ニ些ノ遺憾ナカラシムルヲ要ス。

其他小哨長ハ休憩間勉メテ下士以下休憩ノ比例ヲ平等ナラシメ絶ヘス部下ノ志氣ヲ激勵シ一人ト雖睡魔ニ犯サレ不覺ヲ取ルモノナカラシムルハ勿論常ニ緊張セル精神ヲ以テ各々其任務ヲ完全ニ遂行シ得シムル如クスルヲ要ス又案リト點火シ敵ニ其火光ヲ發見セラレサルコトニ注意スヘシ殊ニ近時流行スル懐中電燈ハ特別ノ場合ノ外之カ使用ヲ禁止スルヲ可トス而シテ小哨内部ノ状態ハ常ニ整然タル秩序ナル動作トヲ保チ靜肅ナラシムルヲ要ス之カ爲特ニ喫食時ニ於ケル喧噪ト混雜トノ如キハ注意シテ豫防セサルヘカラス此ノ事ニ關シテハ後節更ニ研究スル所アラントス。

#### 其十 敵襲ニ際スル行動ノ豫習

小哨長ハ警戒配備ニ關スル總テノ處置ヲ終リ下士以下ヲ休憩ニ就カシメタル後適宜ノ想定ヲ設ケ敵襲ニ際シ取ルヘキ處置動作ヲ豫習シ以テ萬一ノ場合沈着事

ニ當リ些ノ失體ナカラシムルヲ期スルヲ要ス、而シテ其豫習ノ要領ハ小哨ノ位置ニ在ルモノノミニ於テ之ヲ行ヒ下士以下ノ爲ニハ單ニ

靜肅ニ順序正シク集合シ解銃シ火線ニ就キ所望ノ方向ニ對シ射撃ノ準備ヲ整ヘ得ル如ク演練スルヲ以テ足レリトス

ルモ小哨長自身ノ爲ニハ

速カニ敵襲ヲ中隊長ニ報告シ

機ヲ失セス各歩哨ヲ收容シ

比隣小哨ニ急ヲ通報シ尙

有力ナル斥候ヲ放ツテ敵襲ヲ搜索セシムル等

其處置スヘキ件尠ナカラス即チ此ノ演習ニ於テ小哨長ハ之等ノ手順ヲ殘ラス實施シ通報報告ノ爲派遣スル傳令ニハ其通報報告ノ文句ヲ又敵襲偵察ノ斥候ニハ之ニ與フル任務等ヲ實際的ニ示シ唯其實行ハ之ヲ假想ニ止ムル如クスルヲ可トス



而シテ尙此ノ際ヲ利用シ小哨長ハ情況退却スヘキ場合ニハ何レノ時機ニ如何ナル方法ニ依リ退却スヘキヤ又逆襲スヘキ情況ニ於テハ如何ナル方法ニ依リ何レノ時機ニ出撃スヘキヤ等ニ就キ十分研究シ確乎タル腹案ヲ定メ置クヲ要ス

### 第五節 小哨ノ警戒配備完了ニ於ケル處置動作

#### 其一 項目

- 一 天光ノ有ル限リ警戒區域内ノ地形ヲ偵察シ夜間ハ必要アル場合ノ外小哨ノ位置ニ在リテ全般ノ指揮ヲナス、
- 二 歩哨ノ交代ヲ監督指導ス
- 三 簡要ニ應シ特別守則ヲ補備訂正ス、
- 四 必要ニ應シ歩哨ノ配置ヲ變更ス、
- 五 休養ニ關シ所要ノ規定ヲナシ之カ實施ヲ監督ス、
- 六 斥候巡察ヲ派遣シ敵ノ近接ヲ警メ比隣哨所前哨中隊及部下各歩哨等ト確實ニ連絡ヲ保持シ必要ノ通報報告ヲナス、

- 七 刻々舉ル新狀況ヲ承知シ適當ノ處置ヲナス、
- 八 軍使降參人其他歩哨線ノ通過ヲ許シ非ラサルモノ、取り扱ヒヲナス、

#### 其二 小哨長ノ行動ニ就テ

警戒配備完了後ニ於ケル小哨長ノ行動ニ關シテハ陣中要務令第一百七十六ニ明示シアリ即チ晝間ニ於テ小哨ヲ配置セルトキハ小哨長ハ

天光ノ有ル限リ警戒區域内ヲ巡視シテ地形ヲ認識スヘシ但シ常ニ其所在ヲ明ニスヘシ而シテ

夜間ハ其小哨ノ位置ニ在ルヲ原則トス

ト抑々小哨長カ其警戒區域内ノ地形ヲ認識スルノ必要ハ今更諜々ヲ要セサル所ニシテ即チ之ニ依リ不意ノ敵襲等ニ際シ其處置ヲ敏活適切ナラシメ且斥候巡察ノ使用ヲ適切ニシ尙之等斥候巡察及歩哨等ノ報告ノ了解ヲ適切容易ナラシメ得ルモノトス故ニ小哨長ハ詳細ノ上ニモ尙詳細ニ警戒區域内ノ地形ヲ明ニスルヲ要ス之カ爲荷クモ天光ノ有ル限リ其勞力ヲ省ミス偵察ニ勉ムヘシ而シテ陣中要務令ノ警戒區域内ナル語ヲ歩哨線以内ト誤解セサルヲ要ス寧ロ歩哨線前ノ地域

第五節 小哨ノ警戒配備完了後ニ於ケル處置動作



ヲ成ルヘク廣ク暗識スルコト必要ナリ但シ其偵察ニ際シ步哨線ヨリ過度ニ進出スルハ戒ムヘキコト、ス又其所在ヲ明ニスル爲必ス陣中要務令第五百五第二項ノ原則ニ依リ代理者ヲ定メ之ニ自己ノ取ラントスル徑路ヲ概示シ且ツ步哨ノ守地附近ニ至ラハ必ス立チ寄り其服務ノ状態ヲ點檢スルト同時ニ爾後自己ノ取ルヘキ行動ノ一斑ヲ告示シ置クヲ要ス而シテ云フ迄モナク小哨長ハ所要ノ傳令ヲ隨伴スルヲ要ス、

而シテ夜間ニ於テハ小哨長一ト度ヒ其位置ヲ離ル、ヤ縱令其行動スヘキ徑路ヲ詳細ニ指示シ置クモ通視展望困難ナルヲ以テ其所在ノ認識發見容易ナラス故ニ再ヒ小哨ノ位置ニ歸還スル迄ハ應急ノ處置悉ク之ヲ代理者ノ一存ニ委ネサルヘカラス而カモ小哨長ハ小哨ノ位置ヲ離レ何ヲカ爲サントスル思フニ其功其勞ヲ償ハサルモノ多カルヘク時トシテハ却テ其害獨リ増大スルモノアラン況ンヤ夜間ハ動モスレハ人心動搖シ易ク且弛緩ニ陥リ易キニ小哨ノ中心タル小哨長素リニ其定位ヲ去リ部下ノ精神ヲ或ハ過敏ニシ或ハ空虚ナラシム之決シテ當ヲ得タルモノニ非スヤ即チ小哨長ハ夜間勉メテ一定ノ位置ニ占位シ直接部下ヲ掌握シ

時々刻々ノ出來事ヲ處理シ小哨全般ノ警戒ヲ適切ナラシムルヲ要ス然レトモ小哨長ハ狀況ニ應シ步哨ノ配置ヲ變更シ特別守則ヲ訂正シ或ハ步哨服務ノ状態ヲ監視シ且之ヲ激勵スル爲步哨線ノ巡視ヲ必要トスルコト屢之アリ即チ小哨長ハ夜間小哨ノ位置ニ在ルヲ原則トスルモ特別ノ必要ニ際シテハ勿論其位置ヲ離レ毫モ支障ナキモノトス

### 其三 步哨交代ノ指導ニ就テ

陣中要務令第六十八第二項ニ曰ク「一哨所ニ屬スル步哨ノ交代法ハ小哨長之ヲ定ムルモノトス」即チ小哨長ハ步哨ニ特別守則ヲ與フル際特ニ之ヲ規定スルヲ要ス而シテ其交代法ニ關シ規定スヘキ件ハ左ノ二項トス

#### 交代時間(換言スレハ服務時間)

##### 交代ノ爲取ルヘキ通路

但下士哨ノ爲ニハ現場ニ於テ交代時間ノミヲ示シ他ノ步哨即チ小哨ヨリ交代スヘキ複哨ノ爲ニハ交代ノ際取ルヘキ通路ノミヲ規定スレハ足ル而シテ其交代ノ時機ニ關シテハ全部ノ複哨ヲ同時ニ交代セシムルモノト逐次ニ交代セシムルモ



ノトアリ前者ハ其實施法後者ニ比シ複雑ナラサルモ敵ニ近キ場合ニハ交代ノ時機ヲ敵ニ察知セラレ之ニ乗セラレ易キノ不利アリ故ニ敵ニ近キ場合ニハ逐次ニ之ヲ行ヒ第一ノ復哨カ其交代ヲ終リ小哨ノ位置ニ歸還スルヲ待チテ第二ノ復哨ノ交代兵ハ出發スル如クスルヲ可トス但シ第一第二ハ步哨ノ番號ニ非ラス、而シテ交代ノ時間ヲ幾何トスヘキヤハ天候氣象並兵卒疲勞ノ狀態等ヲ顧慮シ決定スルヲ要ス即チ嚴寒豪雨或ハ長途ノ行軍後等ニ在リテハ兵卒ノ體力ヲ愛護シ且精神ノ弛緩ヲ來サ、ル如ク其時間ヲ短縮シ以テ警戒ヲ嚴密ナラシメサルヘカラス而シテ普通ノ狀況ニ於テハ從來ノ經驗上約一時間毎ニスルヲ適當トス、交代ノ實施法ニ就テハ下士哨ニ在リテハ小哨長ノ指示ニ從ヒ下士哨長之ヲ實行シ其他ニ在リテハ小哨長監視ノ下ニ各步哨掛之ヲ行フ即チ各步哨掛之ヲ行フ即チ各步哨掛ハ上番兵ノ武裝ヲ點檢セル後其出發ヲ小哨長ニ報告シ歸還後更ニ交代終了ヲ報告シ尙下番兵ヲシテ服務中ノ出來事ヲ小哨長ニ報告セシム而シテ交代ハ各步哨毎ニ其步哨掛ヲシテ行ハシムルモノニシテ風紀衛兵ノ如ク一人ノ步哨掛ヲシテ數個ノ步哨ノ交代ヲ掌ラシムルモノニ非ラス、

#### 其四 特別守則ノ修正ニ就テ

步哨ノ特別守則ハ其目的時ノ情況ニ應シ步哨ノ任務遂行ヲ容易ナラシムル爲一般守則ヲ補足スルニ在リ故ニ步哨ヲ配置スル毎ニ各步哨ニ就テ特別ニ規定スヘキハ勿論同一歩哨ニ在リテモ情況ノ變化ニ從ヒ其變更ヲ必要トスルコト尠ナカラス例ヘハ晝間ト夜間トニ依リ監視區域ニ相異ヲ來シ步哨相互ノ連絡法ニ變化ヲ及シ尙敵情前方ニ在ル我部隊及斥候ノ情況等ノ變化ニ伴ヒ守則ノ修正ヲ必要トスルニ至ルヘシ

然レトモ既ニ特別守則ニ就テ研究セルカ如ク小哨長ハ全般ノ情況ヲ戰術的着眼ヲ以テ判斷シ步哨ノ任務遂行ヲ容易ナラシムル如ク之ヲ定ムヘキモノニシテ刻々變化スル敵情等ニ依リ頻繁ニ修正ヲナシ遂ニ兵卒ノ頭腦ヲ攪亂シ其記憶理解ヲ困難ナラシメ特別守則ノ權威ヲ損シ之ヲ定ムル價值ヲ減却スルコトナキヲ要ス、

而シテ一度特別守則ノ修正ヲナスヤ單ニ其時服務セル兵卒ノミナラス其步哨ニ屬スル步哨掛若クハ下士哨長以下全兵卒ニ之ヲ徹底セシムルコト緊要ナリ



其五 歩哨ノ配置變更ニ就テ

前哨勤務ニ於ケル警戒配置ハ一旦之ヲ配置スルヤ全然之カ修正變更ヲ許サ、ル如キ固定ノモノニ非ラサルヤ勿論ニシテ殊ニ小哨以下ノ配置ハ必要ニ應シ屢々變更スルコトアルモノトス

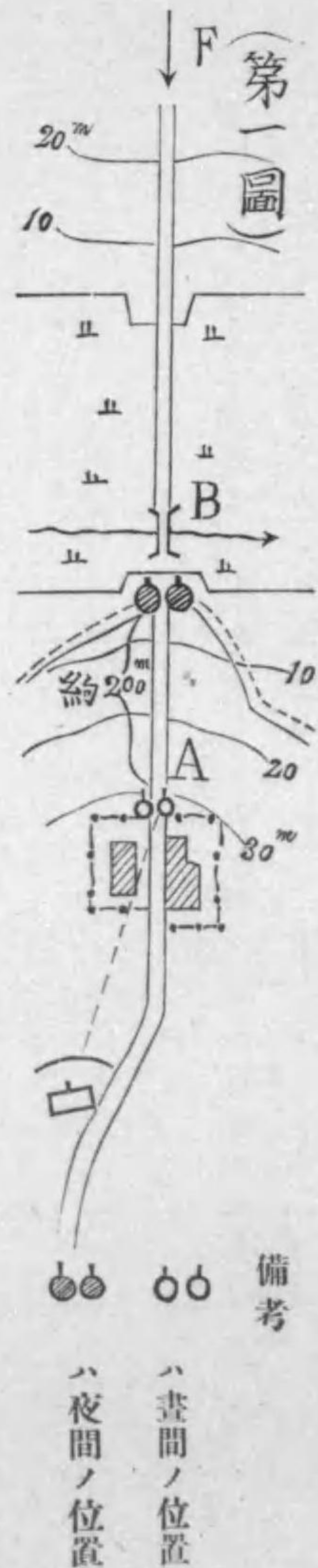
今小哨以下特ニ其歩哨ノ配置ヲ變更スルヲ要スル場合ヲ述フレハ  
晝間ヨリ夜間ノ警戒ニ移ル場合

敵ノ斥候等ニ依リ我配置ヲ察知セラレタル願慮アル場合、及  
情況ノ變化ニ依リ最初ノ配置不適切トナリシ場合等  
トス左ニ少シク之等ニ關シ研究ヲ試ミントス

一 晝間警戒ヨリ夜間ノ警戒ニ移ル場合ニ就テ

晝間ト夜間トニ依リ其警戒配置ニ差異ヲ生スヘキハ敢テ識者ノ説明ヲ要スル迄モナク明瞭ノ事ナリ即チ各歩哨ノ監視能率夜間ハ晝間ニ比シ著シク減少スルヲ以テ晝間例ヘハ一展望哨ノ監視ニヨリ十分警戒シ得タル地域モ夜間ハ數個ノ歩哨ヲ配置シテ尙其警戒ヲ十分ト認メ難キ場合尠ナカラス即チ夜間ハ特

別ノ場合ヲ除クノ外晝間ニ比シ歩哨ノ數ヲ増加シ且其間隔ヲ密ニスルヲ要スルモノトス  
又晝間ト夜間トニ於ケル歩哨ノ位置選定上ノ差異ヲ擧クレハ  
晝間ハ成ルヘク十分ナル展望ト通視トヲ得シムルヲ主トシ  
夜間ハ重要ナル地點ヲ直接監視セシムル如クス  
ルヲ要ス、從テ左圖ノ如キ關係ヲ生ス



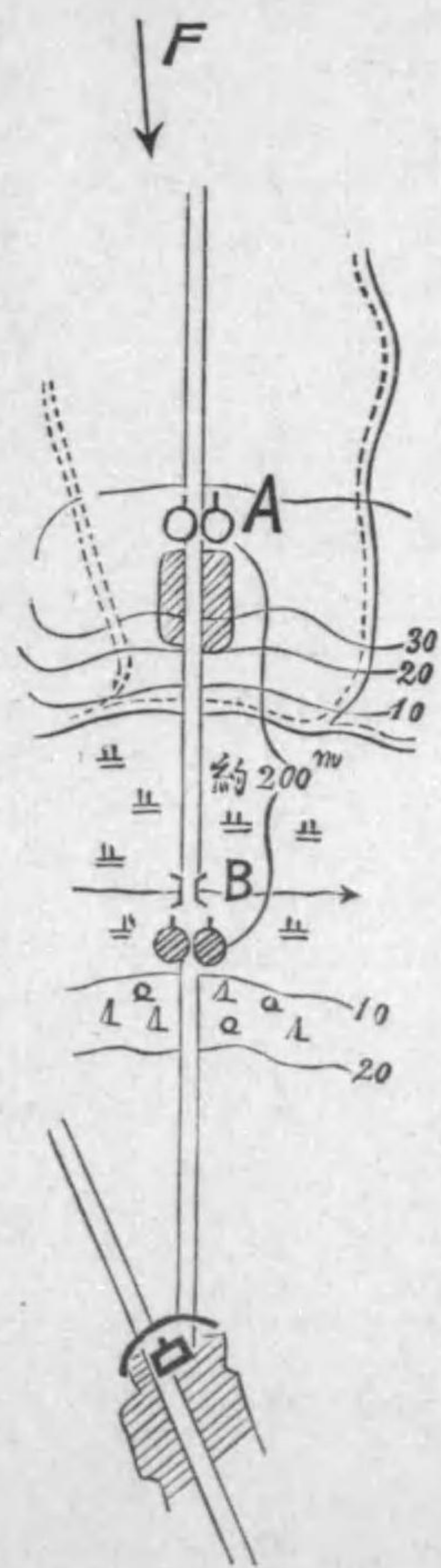
即チ晝間 A 村端ニ位置スルトキハ展望遠ク敵方ニ及ヒ有利ナルモ B 橋梁附近ニ位置スレハ僅カニ前方高地脚迄目視シ得ルニ過キス却テ前方高地上ニ敵兵現出スルトキ此ノ歩哨ハ危険ニ陥ルノ害アリ之ニ反シ夜間ハ A 高地ニ

第五節 小哨ノ警戒配備完了後ニ於ケル處置動作



位置スルモ殆ント展望不能ニシテ却テB橋梁ヲ開放シ敵斥候等ノ進入ヲ自在ナラシムルノ不利アリ故ニ晝間ハA村端ニ配置シ遠ク敵方ヲ展望セシメ夜間ハB橋梁ニ配置シ直接之ヲ監視セシムルヲ可トス

圖二第



此ノ場合ニ於テモ亦前圖例ト殆ント同様ナリ唯夜間歩哨ノ位置ヲ後退セシメタル場合ヲ圖示セルノミ  
右ノ外歩哨ノ晝間ノ位置ト夜間ノ位置ト其撰定上着眼ヲ異ニスル點尠ナカラスト雖大着眼ハ既ニ述フルカ如シ  
晝間ノ歩哨ノ配置ヲ夜間ノ配置ニ移ス時機ハ遅クモ黄昏前ナルヲ要ス之レ新

位置附近ノ地形ヲ認識シ尙暗黒トナルニ先チ右左隣歩哨トノ連絡等ヲ緊密ナラシメ置クヲ要スレハナリ然レトモ亦一面ニ於テハ苟クモ展望ノ利ク限リ敵方ヲ遠ク監視セシムル如ク指導スルハ大ニ必要ノ事ナリトス故ニ此ノ移轉ノ時機ハ早キニ失セス遅キニ過キササル如ク決定スルコト肝要ナリ然レトモ此ノ時機ヲ適切ナラシムル事ハ實施上頗ル困難ニシテ殊ニ數個ノ歩哨ノ配置ヲ變更セントスル場合ニ於テ一層甚シ故ニ通常左ノ方法ニ依ルヲ便トス

變更ニ着手スル時機ヲ稍々早クシ  
晝間ノ姿勢ニ於テ目下監視ニ任シ在ル哨兵ハ其儘トシ  
歩哨掛若クハ下士哨長ニ爾餘交代兵ヲ引率シ新位置ニ就カシメ小哨長ハ遂次ニ其位置ニ至リ特別守則ヲ授與ス  
次テ全ク日暮シ遠望ヲ許サ、ルニ至リ晝間ノ監視ヲ廢ス但シ歩哨掛及下士哨長等ハ此ノ者等ヲ直チニ小哨ノ位置ニ引キ揚クルコトナク一應新守地ニ導キ附近ノ地形ヲ解説記憶セシメ尙之ニ新特別守則ヲ傳ヘ十分了解セシムルヲ要ス

第五節 小哨ノ警戒配備完了後ニ於ケル處置動作



尙晝間ノ監視法ヲ撤スルノ時機ハ小哨長之ヲ命令スルヲ要ス、  
 即チ一時ハ歩哨ノ配置ニ重トナルノ奇觀ヲ呈スルモ警戒ニ缺陷ヲ生スルモノ  
 ニ比スレハ毫モ厭フヘキコト非ラスト信ス又晝間ノ監視ニ任スル最後ノ兵卒  
 ハ時トシテ稍々長時間服務スルコトナキヲ保セス然レトモ其次番ノモノ及次  
 々番ノモノハ休憩時間ヲ多クハ半減セサルヲ得サルヘシ從テ此ノ際勞力ノ不  
 平均ハ殆ント間フヲ要セサルヘシ唯一般ノ勞力ヲ稍大ナラシムルコトハ之亦  
 警戒ノ不備ヲ來サ、ル爲ノ犠牲トシテ止ムヲ得サルコト、ス

## 二 敵ニ我配置ヲ察知セラレタル場合ニ就テ

敵ニ我配置ヲ察知セラレタル場合ニハ小哨長ハ其配置ヲ變更スヘキ  
 ヤ否ヤ變更スルトセハ其程度ヲ如何ニスヘキヤ等ヲ適切ニ判斷スルヲ要ス  
 抑々敵ニ我配置ヲ察知セラル、ハ頗ル不利ニシテ苟クモ察知セラレタル願慮  
 アル場合ニハ成ルヘク之ヲ變更スルヲ要ス然レトモ更ニ願慮スヘキハ此ノ變  
 更ニ伴フ混雜ノ害最善ノ配置ヲ改メテ取りタル新配置ノ價值及新配置ニ伴フ  
 諸勤務ノ一變等之ナリ混雜ハ間隙ヲ生ス間隙ハ敵ノ乘シ易キ處ナリ新配置ハ

多クハ舊配置ノ最善ナルニ加カス新ニ規定セル諸勤務ノ實施ハ既ニ慣熟セル  
 舊來ノモノニ比シ圓滑ヲ缺クハ自然ノ數ナリ然リ而シテ敵カ我配置ヲ察知シ  
 タルヤ否ヤハ全ク想像ニ基クモノニシテ其程度ニ至リテハ一ニ時ノ情況ニ對  
 スル小哨長ノ感想ニ外ナラス即チ配置ノ大變更ニ關シテハ特ニ十分否十二分  
 ノ熟慮ヲ要ス

小哨ノ配置ヲ根本ヨリ變更セントスルハ管ニ其實施困難ナルノミナラス小哨  
 長獨斷ノ範圍ニ非ラス須ラク情況ヲ詳細ニ具シテ中隊長ノ指示ヲ俟タサルヘ  
 カラス然ラハ小哨長自己ノ權限ヲ以テ任意ニ變更シ得ルモノハ歩哨ノ配置及  
 其程度内ノ小哨位置ノ移動之ナリ而シテ此ノ場合ニ於テモ小哨長ハ直チニ之  
 ヲ中隊長ニ報告スルヲ要ス此ノ報告ト同時ニ部下及關係アル比隣哨所ニ通報  
 スヘキハ勿論ナリ

而シテ之カ變更ノ要領ハ機敏且隱密ニ行ヒ混雜ヲ惹起セシメサルニ在リ之カ  
 爲必ス小哨長自ラ現場ニ臨ミ直接之ヲ指導スルト共ニ左右前後ノ連絡ヲ機ヲ  
 逸セス確保シ且一部分宛途次ニ變更スルヲ要ス爾他ノ事ニ關シテハ現況ニ應



シ適切ニ實施スヘク一ニ小哨長ノ技倆ニ信賴セサルヘカラス

### 三 情況ノ變化ニ依リ最初ノ配置不適當トナリシ場合

情況ノ變化ニ依リ步哨配置ノ變更ヲ必要トスルニ至ルカ如キ場合ハ恐ラク稀有ノコトナルヘシ然リト雖亦決シテ皆無ニ非ラス屢吾人ノ遭遇スル所ナリ而シテ此ノ場合ニ於ケル配置變更ノ多クハ監視能率向上ノ爲步哨ノ數及兵力ヲ増加スルニ在リ勿論之等ノ増加ニ伴ヒ從來ノ步哨ノ位置監視法等ニ若干ノ變化ヲ及スヘキハ理ノ當然ナリトス、

配置變更ノ實施要領ハ前二場合ノ方法ヲ適宜應用スレハ可ナリ

#### 其六 給養ニ關スル所要ノ視定及監督ニ就テ

小哨ニ於テ炊爨ヲ實施スルコトハ殆ント稀ナリ若シ之ヲ爲スヲ要スルカ如キ場合ハ多クハ情況緩ニシテ最前線ノ警戒モ比較的稀薄ニシテ可ナル場合ナルヘシ然レトモ之カ實施ニ方リテハ小哨長ハ左ノ諸件ヲ顧慮シ警戒ノ弛緩ヲ來サ、ルコトニ注意スルヲ要ス

一 炊爨ノ爲必要ナル最少限ノ人員ヲ指定區分シ之ニ炊爨ニ關スル一切ノ業務

ヲ擔任セシメ其他ノモノハ決シテ之ニ參與セシメス、

但シ飯盒ノ集收分配水筒ノ填充等小哨ノ全員ニ關係アルモノハ小哨長自ラ或ハ古參分隊長ニ命シ區署ヲナスヘシ

二 炊爨場ハ成ルヘク後方ニ於テ敵方ヨリ火焰ヲ望見セラレズ且小哨ノ位置ト分離セル位置ヲ選定指示シ要ハレハ直接警戒兵ヲ配置ス而シテ命令アルニ非ラサレハ何人ト雖炊爨場ニ立チ寄ルヲ嚴禁ス

三 第一回ニ炊爨スヘキ飯盒數及之カ喫食等ハ必ス小哨長ノ區署スヘキモノトス

以上ノ外炊爨ノ實施法等ハ普通ノ要領ニ依ル

次ノ問題ハ小哨ニ於テ炊爨スルト後方ヨリ分配ヲ受クル場合トヲ論セス之カ喫食法トス古來喫食中ハ警戒ノ嚴肅ヲ破リ易ク從テ此ノ時機ニ奇襲シテ成功シ或ハ敵襲ヲ受ケ不覺ヲ取リタル例ニ乏シカラス、即チ小哨長ハ適宜規定ヲ設ケ一部宛遂次ニ或ハ半數宛交互ニ喫食セシメ不時ノ事變ニ應スル準備ヲ缺カサル如クスルト共ニ一方ニ於テハ監督ヲ嚴ニシ以テ食事中ニ起リ易キ喧噪ヲ絶對ニ戒ム



ルヲ要ス而シテ此ノ際ノ注意ハ成ルヘク前線ノモノヨリ喫食セシムル方法ヲ取ルヲ要ス又下士哨ノ如キハ之ヲ傳令ニ依リ送付シ其位置ニ於テ交互ニ食事セシメ其他ノ步哨上番中ノモノハ下繼トナリタル後之ヲ喫セシムヘシ  
湯茶ノ供給モ亦通常後方ヨリスルモノトス小哨ニ於テ之ヲナス場合ハ小哨ニ於テ炊爨スル時若クハ小哨ニ採暖用ノ炭火等ヲ給セラレ且其附近ニ適當ノ井泉ヲ發見シ得タル時ニ殆ント限ルモノトス而シテ後方ヨリ供給ヲ受クル場合ニハ小哨長ハ適宜ノ時機ニ空水筒ヲ集メ所要ノ人員ヲ指定シ後方ニ至リ填實シ來ラシムルモノトス決シテ任意ニ或ハ各個ニ小哨ノ位置ヲ去ラシムヘカラス

#### 其七 假眠者ノ取り扱ヒ及厠圖ノ指定ニ就テ

假眠ヲ許可セラレタル場合ニハ小哨長ハ特ニ注意ヲ密ニシ之カ實施法ヲ監督指導スルヲ要ス而シテ假眠者中ニハ成ルヘク有階者ヲ交ヘ其實施ヲ適切ナラシムルヲ可トス此ノ際特ニ注意スヘキハ假眠者ヲ假眠セサル者ヨリ適宜分離スルコト及假眠ノ前後ニ於テ十分各自ノ位置又銃等ヲ承置知セシメタコト之ナリ動々モスレハ假眠後自己ノ定位ヲ誤リ或ハ不時ノ場合暗黒中ニ自己ノ又銃ヲ間違ヘ

狼狽スルハ其例ニ乏シカラス

次ニ厠圖ノ設備指定ハ往々忽ニセラレ易キ所トス勿論小哨否前哨勤務ニ於テハ縱令之等ノ處置ニ脱漏アルモ前線ノ警戒搜索ノ區署ヲ適切迅速ニシ抗戰準備ヲ確實ニスレハ任務ノ遂行ニハ支障ナキモノトス然レトモ之等ノ衛生上ニ關スル注意モ亦緊要ニシテ熟練ナル小哨長ハ之等ノ注意ヲ怠リ患者ヲ生スルカ如キコトハ絶對ニナサルモノトス

#### 其八 斥候巡察ノ使用及通報報告連絡等ノ處置ニ就テ

小哨長ハ小哨ノ警戒配備ヲ完了シ且小哨内務ニ關スル諸處置ヲ終ルヤ爾後自ら部下ノ儀表トナリ精神氣力ヲ緊張シ能ク其職責ヲ全フセシメサルヘカラス  
而シテ小哨長ハ絶ヘス斥候巡察ヲ派遣シ敵ノ近接ヲ警メ步哨服務ノ状態ヲ監督シ尙ホ刻々舉ル情況ニ對シテハ機ヲ逸セス所要ノ處置ヲナシ之ヲ部下ニ通報シ中隊長等ニ報告シ且比隣小哨ニ通報スルヲ要ス

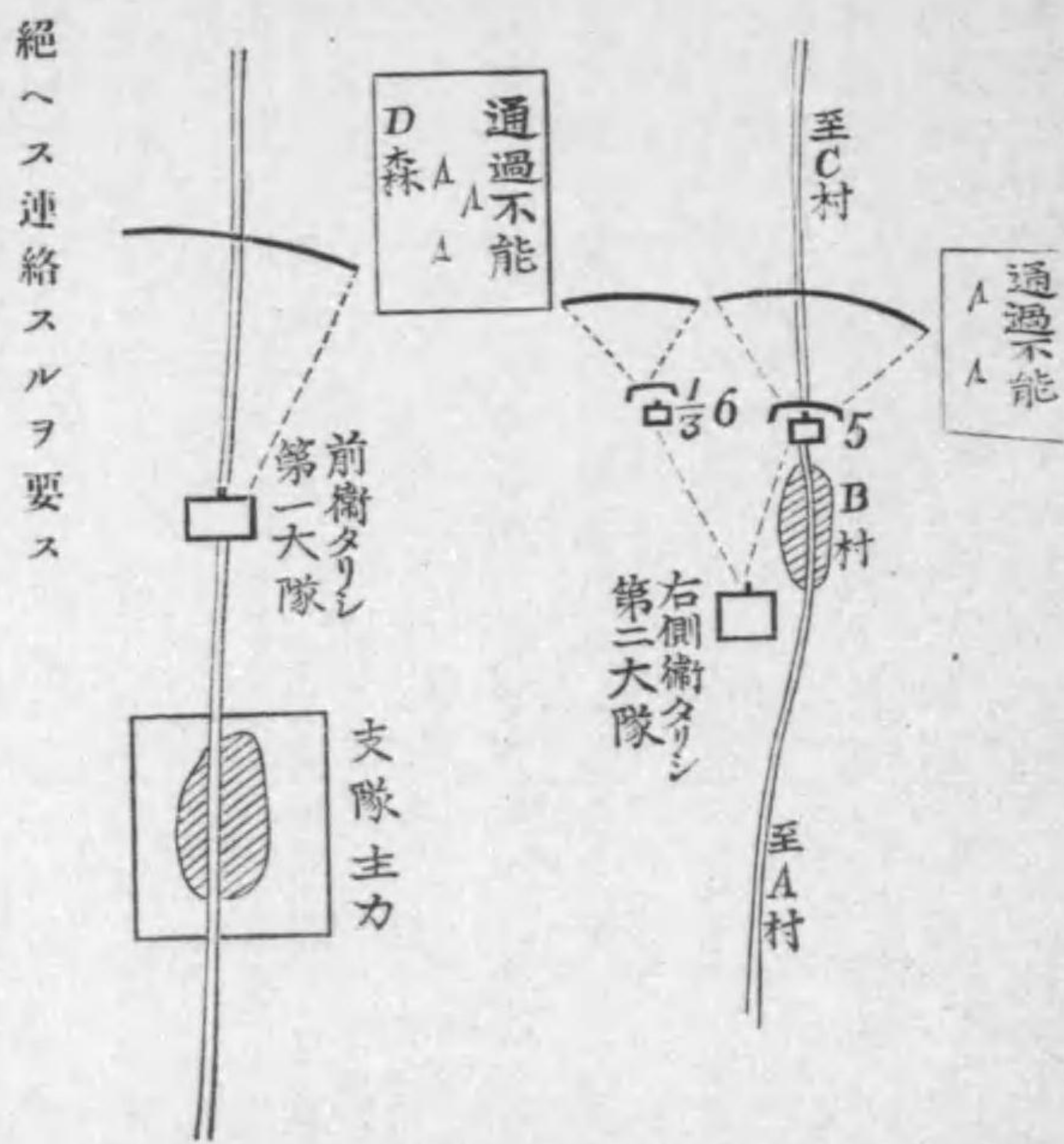
斥候及巡察ノ使用ニ關シテハ前節其三勤務員ノ區分ニ於テ研究セル趣旨ニ基キ派遣スルノ外必要ニ際シテハ其兵力ヲ増大シ臨時任務ヲ與ヘテ動作セシムルヲ



要スルコト屢々ナルヘシ例ヘハ小哨ノ前方近距離ニ敵兵來着ノ微アル場合其實否及動靜ヲ察知セシメントスルカ如キ或ハ敵ノ小斥候我歩哨線前ニ徑徊シ容易ニ他ニ去ラサルカ如キ場合ニ之ヲ驅逐セシメントスルカ如キ殆ント其收擧ニ惶アラサルヘシ而シテ斥候巡察ハ成ルヘク輕裝セシムルヲ可トス

又通報報告等ノ必要ハ今更之カ諜々ヲ要セスト雖從來ノ經驗ニ依ルニ概シテ其實施不十分ナリ特ニ連絡ニ關シテハ一層不十分ノ點多ク連絡ハ異狀ノ有無ニ拘ハラズ絶ヘス確保スルモノナリテフ感念ノ存否ヲ疑ハシムルモノアリ縱令異狀ナキ場合ニ在リテモ小哨長ハ中隊及比隣小哨トハ少クモ一二時間ニ一回ハ連絡スルヲ要ス今左ニ一例ヲ舉ケテ連絡ニ關スル地究ヲ試ミ特別ノ注意ヲ喚起セントス

上圖ニ於テ攻撃ノ目的ヲ有スル支隊ノ右側大隊ハA村方向ヨリ前進シB村附近ニ於テ停止シ右前哨トナル此ノ時大隊長ハ尖兵中隊タリシ第五中隊ヲB村北端ニ止メ前哨中隊タラシメ別ニ第六中隊ノ一小隊ヲ小哨トシテ左前哨ト前哨第五中隊トノ中間ヲ警戒セシメタル情況トス



此ノ場合小哨長ハ先ツ第五中隊長ト連絡シテ其配備ノ概要ヲ知り自己ノ配備ヲ決定スヘク左前哨トハ單ニ左前哨ノ配備ヲ承知シ自己ノ配備ヲ通報スルノミナラス右前哨全般ノ情況ヲ通報スヘク且ツ左前哨全般ノ情況ヲ承知シ之ヲ直チニ右前哨本隊及前哨第五中隊ニ通報セサルヘカラス爾後此小哨長ハ左ノ各哨所ト

絶ヘス連絡スルヲ要ス  
前哨第五中隊  
同左小哨  
第五節 小哨ノ警戒配備完了後ニ於ケル處置動作



右前哨本隊左前哨ノ右小哨若クハ右前哨中隊

而シテ敵情ノ變化ヲ察知シ得タル場合或ハ自己小哨ハ勿論左右前哨ノ一方カ其配置ヲ變更セルヲ知リタル場合ニ通報ヲ兼テ連絡スルハ勿論之等ノ異狀ナキ時ニ於テモ絶ヘス自己小哨ノ異狀ナキコト及既ニ連絡セル他哨所異ニ狀ナキコトヲ通報シ先方ノ情狀ノ有無ヲ明ニスルヲ要ス

其九 軍使降參人其他歩哨線ノ通過ヲ許シ  
非ラサルモノ、取り扱ヒニ就テ

軍使降參人等ハ行軍前哨ニ於テハ殆ント來ルコトナカルヘシト雖戰闘準備前哨殊ニ敵ト接近シ永ク相對峙スル場合ニ於テハ屢々之カ取り扱ヒヲナサ、ルヘカラサルヘシ  
而シテ軍使ハ遠方ヨリ其軍使タルヘキコトヲ現示スル爲樂器ヲ利用スル等種々ノ手段ヲ講スヘシト雖要務令ニ明示シアル如ク白旗ヲ掲揚スルヲ以テ其標識トス故ニ小哨長ハ歩哨ヨリ之ニ類似スル敵兵ノ近接スルヲ聞カハ直ニ之ヲ中隊長ニ報告スルト共ニ小哨ニ現在スルモノニ戰闘準備ヲ命シ萬一ノ場合ニ備ヘシメ

自ラ所要ノ下士卒ヲ伴ヒ直チニ歩哨線ニ進出シ中隊長ノ來着スル迄軍使ヲ適宜ノ地點成ルヘク歩哨線ノ前方ニ停止セシメ全般ノ指揮ヲナシ不時ノ事變ヲ警メ且我軍機ノ漏洩ニ注意スヘシ而シテ小哨長ハ軍使ヲ停止セシムルノ外決シテ談話スヘカラス此ノ際小哨長小哨ノ位置ニ在リテ下士以下ヲシテ軍使ヲ待遇セシムル時ハ往々我配備等ヲ敵ニ察知セラル、コトアリ  
降參人我軍ニ屬スル間諜ノ取り扱ヒニ關シテハ要務令ノ規定ニヨリ盡サレアリ又別ニ加フヘキコトナシ

歩哨ノ一般守則ニ於テ歩哨線ノ通過ヲ許シ非ラサルモノヲ歩哨ヨリ送り來ル時ハ小哨長ハ特別周到ノ注意ヲ以テ之ヲ取り調へ少シニテモ不審ノ點アルモノハ前哨中隊ニ送付スル如クスルヲ要ス  
暗號ヲ知ラサルモノ或ハ不正ナルモノ等アリテ其指示ヲ歩哨ヨリ受ケニ來リタルトキハ小哨長ハ臨時定メラレタル規定ニ依リ之ヲ處置シ或ハ引見シテ直接之ヲ檢シ然ル後所要ノ處置ヲナスモノトス



## 第六節 敵襲ヲ受ケタル場合ノ處置動作

何レノ場合如何ナル任務ヲ有スル軍隊ト雖敵襲ヲ豫知スルコト遲ニ從ヒ之ニ應スル處置動作益々困難ナルモノトス殊ニ小哨ノ如キ全ク不意ニ敵襲ヲ受ケルトキハ雷ニ全滅ニ陥ル公算多キノミナラス其任務遂行スラ殆ント期待シ難キニ至ルヘシ故ニ小哨長ハ絶ヘス斥候ニ依リ歩哨線前ヲ搜索シ敵ノ近接ヲ警ムルノ外比隣哨所及中隊長等ト緊密ニ連絡ヲ保持シテ全般ノ情況ヲ詳知シ以テ成ルヘク速カニ敵襲ヲ察知スルコトヲ勉ムヘシ

而シテ小哨敵襲ヲ受ケタルヤ別命アル迄極力敵ヲ抗拒シ以テ中隊ニ戦闘準備ヲ整フル時間ノ餘裕ヲ得シメサルヘカラス以下少シク敵襲ヲ受ケタル場合ノ小哨長ノ處置動作ニ就キ研究セントス

## 一 自己ノ警戒正面ニ敵襲ヲ受ケタル場合

## (一) 敵ノ眞面目ノ攻撃ヲ受ケタル場合ノ動作

此ノ場合ニ於テモ小哨長ノ搜索若シクハ他ノ通報ニ依リ敵襲ヲ豫知セル場

合ト敵ノ攻撃ヲ受ケタル後初メテ之ヲ知リタル場合トハ之ニ應スル處置動作頗ル相違アルヘシ

元來理想上ヨリ論スレハ小哨ハ豫メ敵襲ヲ察知シ之ヲ報告シテ中隊ニ抗戰準備ヲ整ヘシメ小哨ハ獨力ニテ抗戰スルコトナク中隊ト合シテ敵ヲ抗拒スルヲ有利トス故ニ前者即チ敵襲ヲ豫知セル場合ニ於テハ小哨長ノ處置ハ概ネ左ノ如クナルヘシ

(イ) 先ツ敵襲成ルヘク兵力行進方向速度及某地點通過ノ時刻等詳細ニ亘ルヲ要スアルコトヲ中隊ニ報告ス

(ロ) 敵ノ動靜ヲ偵察シ且其行動ニ隨從シテ時々刻々ノ情況ヲ知ル爲有力ナル斥候ヲ派遣ス

(ハ) 各歩哨ヲ引キ上ク(歩哨掛ニ命シ或ハ傳令巡察ヲ派遣シテ之ヲ命ス)

(ニ) 比隣小哨ニ敵襲及小哨ノ處置ヲ通報ス

(ホ) 全員ヲ抵抗線ニ就カシム

(ヘ) 歩哨ヲ撤スルト同時ニ別ニ斥候ヲ以テ敵ノ近接ヲ搜索セシム



爾後ノ動作ハ抵抗線ニ於テ敵ヲ抗拒スルカ或ハ命令ニ依リ中隊ノ位置ニ退却スルカ乃至ハ特別ノ命令ニ基キ特種ノ動作(例ヘハ敵ヲ地方面ニ誘致スルカ如キ)ヲナスカハ一ニ其時ノ情況ニ依ル而シテ退却スルニ方リテハ必ス中隊ノ正面ヲ避クルコト及敵トノ接觸ヲ絶タサルコトニ注意スヘシ

若シ全ク不意ニ敵ノ攻撃ヲ受ケタル場合ニハ沈着事ニ當リ敵ヲ抗拒スルノ外全ク臨機ノ處置ニ依ルヘキモノニシテ中隊ニ報告シ比隣小哨ニ連絡シ部下各歩哨ニ通報スルコト前者ト同要領ニ依ルヘシ而シテ此ノ場合ニハ特ニ敵ノ企圖果シテ眞面目ノ攻撃ナリヤ否ヤヲ速カニ察知スルコト緊要ナリ

最後ニ一言スヘキハ小哨退却ノ時機ナリトス世論往々適宜ノ時機ヲ看破シ小哨長ハ退却スヘシトナスモノアルモ吾人ハ同意スル能ハス小哨ハ必ス中隊長ノ命ニ依リ退却スヘキモノニシテ退却ノ命非ラサル限り全滅ヲ賭シテ抗戦スヘキモノト信ス今假リニ一步ヲ譲リ別命ヲ待タス退却スルモノトスルモ少クモ中隊ノ抗戦準備完了ヲ何等カノ方法ニ依リ確認シタル後ニ非ラサレハ退却スヘキモノニ非ラス若シ抗戦準備完カラサルニ小哨先ツ退却セ

ンカ中隊ハ果シテ十分敵ヲ抗拒シ得ルヤ否ヤ敢テ識者ノ判決ヲ俟ツヲ要セサルナリ

## (二) 敵ノ小企圖ニ遭遇シタル場合ノ動作

敵ノ小企圖ハ豫メ之ヲ察知スルハ多クハ困難ニシテ小哨長ハ突嗟ノ間ニ處置シ之ニ應セサルヘカラサルヲ普通トス即チ敵ノ眞面目ノ攻撃ヲ不意ニ受ケタル場合ト概ネ同様ノ處置動作ニ出ツヘキモノトス但シ敵ノ小企圖ナルヲ察知セル場合ニハ極力之ヲ擊退スルノ處置ヲ取ラサルヘカラス

之カ爲場合ニ依リテハ有力ナル巡察ヲ歩哨線ニ派遣シテ歩哨ト協力シ之ヲ擊退セシメ或ハ小哨ノ全力ヲ以テ抵抗線ニ據リ之ヲ擊攘スルノ處置ニ出テサルヘカラス而シテ此ノ際各歩哨ヲ撤スヘキヤ否ヤハ全ク時ノ情況ニ依ルヘキモノニシテ一概ニ論シ難シ

## 二 自己ノ警戒正面外ニ敵襲ヲ受ケタル場合

此ノ場合ノ處置動作ハ殆ント研究ノ餘地ナシト雖別命アル迄其位置ヲ固守シ敵襲アル方面ノ翼ヲ警戒スルノ外自己ノ正面ニ對スル搜索ヲ一層嚴ニシ且ツ



何時命令ニ接スルモ直チニ之ニ應シ部下ヲ掌握シ進退シ得ヘク準備スルコト  
必要ナリ

以上敵襲ヲ受ケタル場合ノ處置動作ヲ分類研究スト雖到底十分ニ之ヲ盡スヲ得  
ス要ハ絶エス搜索連絡ヲ密ニシテ勉メテ不意ノ敵襲ヲ避ケ常ニ敵情ヲ明ニシ却  
テ敵ニ先シテ凡テノ處置ヲナシ得ル如クスルト共ニ能ク部下ヲ掌握シ至當ニ情  
況ヲ看破判斷シ斷乎タル決意ヲ以テ事ニ當リ全軍ノ爲一身ヲ犠牲トスルノ覺悟  
アルヘシト爾云

最後ニ敵ヲ擊退シ得タル場合ノ處置ヲ述ヘ此研究ヲ終ラントス但シ此ノ場合ノ  
處置ニ關シテハ多ク論スルヲ要セス次ノ二件ノミ曰ク

敵ヲ擊退スルヤ直チニ有力ナル斥候ヲ派遣シ之ヲ急追セシメ潰亂ニ陥ラシム  
ヘシ曰ク

成ルヘク速カニ所要ノ警戒配置ヲ取り左右前後ノ連絡ヲ確保スヘシ

### 小哨長ノ參考終

大正八年五月八日印刷  
大正八年五月十一日發行

定價 金五拾錢



編輯者兼 發行所 東京市四谷區本村町九番地 安西理三郎

印刷者 東京市芝區新錢座町十番地 齋藤千吉

印刷所 東京市芝區新錢座町十番地 近藤商店

## 發行所

東京市四谷區本村町九番地 菊地屋 軍事學指針社

振替口座東京九〇三一番



□新刊□

# 野砲兵教練ノ參考

印刷實費  
金壹圓廿錢  
郵税金八錢

# 野砲兵教練ノ參考

印刷實費金五十錢  
郵税金四錢

(馭法ノ部)

本書ハ野砲兵教練ノ參考トナスヘキ事項ヲ集録セルモノニシテ某校ノ依頼ヲ受ケ今回新ニ(馭法ノ部)ヲモ發行印刷致候處殘本若干有之候ニ就キ希望者ハ至急御申込相成度候也

發行所

東京市四谷區本村町九番地

軍事學指針社

振替口座東京九〇三一番

□新刊廣告□

# 戰術研究要領

附原則ノ徹底的的研究問答

今回愈々發行

郵税共金五拾錢

本書ハ著者多年ノ經驗ニ基キ戰術研究ノ順序方法ヲ説述シタルモノニシテ戰術研究ノ意義ヨリ原則並ニ應用戰術ノ研究ニ關スル順序方法及ビ細部ノ着意事項等ニ至ル迄其記述極メテ親切明細ニシテ戰術研究者ノ好侶伴タルヲ確信ス

著者ハ大學出身ノ高級將校ニシテ戰術教官タリ又監督者タルノ經歷ヲ有シ而モ最近將校團教育ヲ擔任シテ戰術研究上ニハ多大ノ經驗ヲ有スルト同時ニ戰術研究者中其研究ノ要領ヲ會得シアラサルモノナラカラス從テ其進歩向上ニ多大ノ關係アルヲ慮リ著述シタルモノナルヲ以テ青年將校准尉候補者其他苟モ戰術ヲ研究セントスルモノノ爲メニハ該書ノ價值蓋シ鮮ナラサルヘシ

發行所

東京市四谷本村町九  
振替東京九〇三一番

軍事學指針社







!! 軍隊教育ノ光明 !!

# 大正時代ノ眞想ト着眼

定價金卅五錢  
郵税金四錢

◎改正新教育令ニ依リ出版セラレタル 本書ノ特色

本書ハ著者多年ノ經驗ニ基キ軍隊教育ノ現況ト時弊トヲ看破シ青年將校ニ教育上ノ指針ト教育技能増進ノ基礎ヲ與フルヲ目的トシ原則的研究ヲ主トシ之ニ當局者ノ意ヲ附シテ其眞想ヲ明カニシ且自己ノ經路ヲ附シテ教育上ノ着眼點ヲ示シタルモノニシテ教育上ノ好侶伴タリ

著者ハ目下聯隊附中佐トシテ卓識經驗ヲ有シ從來教育界ニ多大ノ貢獻アリシ人ナリ從テ本書内容ノ杜撰ニ非サルコトヲ附記ス矣

發行所

東京市四谷區本村町九番地

軍事學指針社

振替口座東京九〇三一番

○新刊○

## 最新 軍事學試驗問題集 全

戰術、軍制、兵器、地形、築城、交通學

攜帶至便體裁優美 定價金四十錢 郵稅四錢

軍事學ノ研究ハ其範圍廣汎ニシテ殆ント際涯ナク其蘊奧ヲ極ムルコト至難ナルハ敢テ茲ニ喋々ヲ要セズト雖モ其方法ニシテ適切ナランカ漸次其歩武ヲ進メ以テ難句ヲ氷解スルニ庶幾カラン弊社茲ニ感ズル所アリ今回軍事學諸問題集ヲ蒐錄シ以テ世ニ公ニセルモ此所以ニ外ナラザルナリ

發行所

東京市四谷區本村町九  
振替東京九〇三一番

軍事學指針社



陸軍士官學校長 與倉少將閣下題字  
陸軍士官學校 陸軍步兵少佐 鏡山殿殿校閱  
陸軍士官學校 大野大佐殿序文 陸軍步兵中尉 平田房男殿校閱  
陸軍士官學校 陸軍步兵曹長 對馬伊佐美著

# 新劍術教範ノ實際的研究

正價金四十錢  
郵税金六錢

▲四六版假製印刷鮮明紙質上等紙數三百頁餘頗美  
本書ハ昨年十二月劍術教範改正ノ當時著者カ陸軍戸山學校ニ於テ研鑽シタル手稿ヲ基礎トシ士官學校生徒教育ニ親シク應用シテ得タル實際的經驗録ニシテ説ク所教範改正ノ真隨ヲ細述シ之ニ本邦古來獨特ノ劍道要義ヲ引證シ其教育上ノ着眼ハ双手片手軍刀術並ニ銃劍術ノ各技ニ亙リ精細適切ナル解説ヲ加ヘ殊ニ指導上ノ要訣ニ到リテハ懇切周到餘ス所ナク加之文章平易ニシテカメテ難解ノ字句ヲ避ケタルカ如キハ教官ノ參考タルハ勿論助教助手タル下士上等兵諸士ノ絶好ノ指針ニシテ陸軍士官學校長與倉閣下並大野生徒隊長殿ヨリ特ニ讚辭ヲ忝ウセルニ見ルモ其價値ヤ知ル可キノミ乞フ同好ノ士座右ニ一本ヲ備ヘ以テ斯道研究ニ資セラレンコトヲ

發行所 東京四谷區本村町九番地 軍事學指針社  
振替口座東京九〇三二番

## 軍事學指針社出版書目 其一部

- |  |  |  |  |  |  |  |   |                                  |                                   |   |
|--|--|--|--|--|--|--|---|----------------------------------|-----------------------------------|---|
| 佛國ラッロア將軍序文 日本某參謀將校校閱<br>佛國カスアリ將軍原著 日本某軍事專門家譯<br><b>戰術及一般戰術之研究</b> 全一冊 定價金壹拾錢 | 陣中要務 黒坂靜一著 [再版]<br><b>圖上之研究</b> 全二冊 定價金八拾錢 | 軍事學指針社新著<br><b>支隊戰術之研究</b> 全二冊 定價金六十五錢 | 軍事學指針社新著<br><b>初級輜重戰術之研究</b> 全二冊 定價金三十五錢 | 軍事學指針社新著<br><b>師團大行李指揮之研究</b> 全二冊 定價金三十錢 | 軍事學指針社新著<br><b>步兵小行李指揮之研究</b> 全二冊 定價金二十錢 | 軍事學指針社新著<br><b>是でもわからぬか</b> [第四版] 定價金一圓五十錢<br>全五冊 郵税金十二錢 | 軍事學指針社新著<br><b>地學詳説</b> [再版] 定價金六十五錢<br>全一冊 郵税金六錢 | 軍事學指針社新著<br><b>地形學</b> 全一冊 定價金八錢 | 軍事學指針社新著<br><b>現地講話</b> 全一冊 定價金八錢 | 軍事學指針社新著<br><b>新兵野外教育計畫</b> [第四版] 定價金三十錢<br>全一冊 郵税金四錢 |
| 軍事學指針社<br><b>有爲の見習士官</b> 全一冊 定價金十二錢  | 軍事學指針社<br><b>戰時の小隊長</b> 全一冊 定價金二十錢         | 軍事學指針社<br><b>步兵の本領</b> 全一冊 定價金二十錢      | 軍事學指針社<br><b>步兵聯隊ト其活動</b> 全一冊 定價金三十五錢    | 軍事學指針社<br><b>原則之</b> 全一冊 定價金一圓九十五錢       | 軍事學指針社<br><b>銃劍術教育指針</b> 全一冊 定價金貳拾錢      | 軍事學指針社<br><b>軍隊統御法</b> 全一冊 定價金貳拾錢                        | 軍事學指針社<br><b>步兵操典</b> 全一冊 定價金四拾錢                  | 軍事學指針社<br><b>步兵操典</b> 全一冊 定價金四拾錢 | 軍事學指針社<br><b>步兵操典</b> 全一冊 定價金四拾錢  | 軍事學指針社<br><b>步兵操典</b> 全一冊 定價金四拾錢                      |



同 終編 定價 金拾五錢  
自防禦 至他兵種に對する歩兵の勤作 郵稅 金六錢

白里 著 定價 金拾五錢  
新步兵操典及初級戰術研究錄 全一冊 郵稅 金六錢

野外引 著 定價 金拾五錢  
初級戰術研究錄 全一冊 郵稅 金六錢

獨逸 著 定價 金拾五錢  
戰術學 全一冊 郵稅 金六錢

新兵器 著 定價 金拾五錢  
兵器學常識問答 全二冊 郵稅 金八錢

命 著 定價 金拾五錢  
射擊教育 全一冊 郵稅 金四錢

軍事學指針社著 定價 金拾五錢  
日獨騎兵操典對照義解 全一冊 郵稅 金四錢

實際的步兵 著 定價 金拾五錢  
入學試驗問題解答 全一冊 郵稅 金四錢

初審試驗受驗の爲に 著 定價 金拾五錢  
受驗の爲に 全一冊 郵稅 金二錢

再審試驗受驗の爲に 著 定價 金拾五錢  
受驗の爲に 全一冊 郵稅 金二錢

東久世伯爵閣下題辭 支那哲學研究會註 全三冊 紙數各九百頁  
文學博士 服部宇之吉序文 和譯 全三冊 郵稅 一冊金拾四錢  
新註 白氏文集 菊牛藏版三百六十頁餘 定價 金四拾錢

模範の見習士官 定價 金四拾錢  
石版着色六度刷 壹枚定價金三錢

陸軍平時隊配備略表 定價 金四拾錢

測板測圖必携 定價 金三錢

詔勅集 定價 金三錢

陸軍少將 松石安治閣下校閱 陸軍砲兵大尉植村東彦校訂 定價 金四拾錢

文學士 中村德助著 定價 金四拾錢

支那哲學研究會註 定價 金四拾錢

支那哲學研究會註 定價 金四拾錢

支那哲學研究會註 定價 金四拾錢

支那哲學研究會註 定價 金四拾錢

支那哲學研究會註 定價 金四拾錢

支那哲學研究會註 定價 金四拾錢

支那哲學研究會註 定價 金四拾錢

支那哲學研究會註 定價 金四拾錢

支那哲學研究會註 定價 金四拾錢

支那哲學研究會註 定價 金四拾錢

支那哲學研究會註 定價 金四拾錢

支那哲學研究會註 定價 金四拾錢

支那哲學研究會註 定價 金四拾錢

支那哲學研究會註 定價 金四拾錢

支那哲學研究會註 定價 金四拾錢

支那哲學研究會註 定價 金四拾錢

支那哲學研究會註 定價 金四拾錢

支那哲學研究會註 定價 金四拾錢



8. 6. 4



66



319  
408



終